




Dell Server Management Pack Suite Version 5.0.1 For Microsoft System Center Operations Manager And System Center Essentials

ユーザーズガイド



メモ、注意、警告

-  **メモ:** コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。
-  **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。
-  **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

© 2012 Dell Inc.

本書に使用されている商標 : Dell™、Dell のロゴ、Dell Boomi™、Dell Precision™、OptiPlex™、Latitude™、PowerEdge™、PowerVault™、PowerConnect™、OpenManage™、EqualLogic™、Compellent™、KACE™、FlexAddress™、Force10™ および Vostro™ は Dell Inc. の商標です。Intel®、Pentium®、Xeon®、Core® および Celeron® は米国およびその他の国における Intel Corporation の登録商標です。AMD® は Advanced Micro Devices, Inc. の登録商標、AMD Opteron™、AMD Phenom™ および AMD Sempron™ は同社の商標です。Microsoft®、Windows®、Windows Server®、Internet Explorer®、MS-DOS®、Windows Vista® および Active Directory® は米国および/またはその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。Red Hat® および Red Hat® Enterprise Linux® は米国および/またはその他の国における Red Hat, Inc. の登録商標です。Novell® および SUSE® は米国およびその他の国における Novell, Inc. の登録商標です。Oracle® は Oracle Corporation またはその関連会社、もしくはその両者の登録商標です。Citrix®、Xen®、XenServer® および XenMotion® は米国および/またはその他の国における Citrix Systems, Inc. の登録商標または商標です。VMware®、Virtual SMP®、vMotion®、vCenter® および vSphere® は米国またはその他の国における VMware, Inc. の登録商標または商標です。IBM® は International Business Machines Corporation の登録商標です。

2012 - 08

Rev. A00

目次


メモ、注意、警告.....	2
章 1: はじめに.....	7
Dell Server Management Pack Suite の新機能.....	7
Dell Server Management Pack Suite の主要機能.....	8
Dell Server Management Pack Suite.....	10
拡張可能エディションと詳細エディションの機能比較.....	12
章 2: Dell Server Management Pack の機能性概要.....	13
章 3: 検出とグループ化.....	15
サーバー（帯域内）監視機能を使用した Dell システムの検出.....	15
サーバー（帯域外）監視機能を使用した Dell システムの検出.....	16
シンプル認証 Run As アカウントの作成.....	17
DRAC およびシャーシデバイスの検出.....	17
OpsMgr 2012 のための拡張性の推奨.....	18
Dell Server Management Pack Suite による検出.....	18
Dell サーバー（帯域内）監視機能による検出.....	18
Dell サーバー（帯域外）監視機能による検出.....	19
DRAC 監視機能による検出.....	19
Dell シャーシ監視機能による検出.....	19
シャーシブレード関連機能による検出.....	20
Dell Common Operations Library Management Pack による検出.....	20
オブジェクト検出のカスタマイズ.....	20
章 4: 監視.....	21
重要度レベルのインジケータ.....	21
ビュー.....	22
アラートビュー.....	22
ダイアグラムビュー.....	23
状態ビュー.....	26
パフォーマンスおよび電源監視ビュー.....	27
ユニット監視.....	27
サーバー（帯域内）監視機能のための Dell ユニット監視.....	28
サーバー（帯域外）監視機能のための Dell ユニット監視.....	30
シャーシ監視機能のための Dell ユニット監視.....	32
DRAC 監視のための Dell ユニット監視機能.....	33
ルール.....	33


Dell システムイベント処理のルール.....	34
Server Administrator.....	34
ストレージ管理.....	34
DRAC、CMC、または DRAC/MC.....	34
Dell サーバー.....	34
パフォーマンスコレクションルール.....	35
章 5: タスク.....	37
タスクサマリ.....	37
機能管理タスク.....	39
Dell モジュラーとモノリシックシステムのタスク（帯域内）.....	42
ESM ログのクリア.....	42
Dell OpenManage Server Administrator の起動.....	42
Remote Desktop の起動.....	42
帯域内 Dell Remote Access Console の起動.....	43
電源状態のチェック.....	43
パワーサイクル.....	43
強制電源オフ.....	43
正常電源オフ.....	44
電源オン.....	44
電源リセット.....	44
LED 識別表示オフ.....	45
LED 識別表示オン.....	45
保証情報の取得.....	45
Dell OpenManage Power Center の起動.....	45
X32 ビット管理サーバーでの Dell License Manager の起動.....	46
X64 ビット管理サーバー上での Dell License Manager の起動.....	46
Dell モジュラーとモノリシックシステムタスク（帯域外）.....	46
保証情報の取得.....	46
Dell OpenManage Server Administrator（モノリシックサーバー）の起動.....	47
Remote Desktop（モノリシックサーバー）の起動.....	47
Dell OpenManage Power Center の起動.....	47
Dell Remote Access Console の起動.....	47
Dell License Manager の起動.....	48
Dell Remote Access Controller（DRAC）タスク.....	48
Dell Remote Access Console の起動.....	48
Dell License Manager の起動.....	48
Dell OpenManage Server Administrator の起動.....	49
Remote Desktop の起動.....	49
Dell シャーシタスク.....	49
Dell CMC Console の起動.....	49
Dell Modular Chassis Remote Access Console の起動.....	50


Dell Connections License Manager URL の設定.....	50
章 6: レポート.....	53
レポートへのアクセス.....	53
OpenManage Windows イベントログレポートの生成.....	53
BIOS 設定レポートの生成.....	54
ファームウェアおよびドライババージョンレポートの生成.....	54
RAID 設定レポートの生成.....	54
章 7: 関連文書およびリソース.....	57
Operations Manager のパフォーマンスと拡張性のためのマイクロソフトガイドライン.....	57
その他の必要マニュアル.....	57
デルへのお問い合わせ.....	58
章 8: 付録 A - 問題とその解決.....	59
問題とその解決	59
既知の制限	60
機能管理アラート.....	61
章 9: 付録 B - 外部プログラムの有効化タスク	63
アドバンス電源制御と LED 識別表示タスクの作成.....	63
License Manager 起動タスクの作成.....	64


はじめに

本書では、Microsoft System Center Operations Manager 2007 R2、Microsoft System Center 2012 Operations Manager、および System Center Essentials 2010 向けの Dell Server Management Pack Suite バージョン 5.0.1 で実行できるアクティビティが説明されています。この環境により、Dell デバイスの管理および監視ができ、デバイスが使用可能であることも確実にします。

 **注意:** データの破壊および/または損失を避けるため、本書の手順は Windows オペレーティングシステムと Systems Center Operations Manager 2007 SP1/R2、System Center 2012 Operations Manager、および System Center Essentials 2010 の使用における適切な知識と経験をお持ちの場合にのみ実行してください。

 **メモ:** 既知の問題についての情報に加え、ソフトウェアおよび管理サーバー要件の最新情報が記載されている Server Management Pack Suite の readme ファイルをお読みください。この readme ファイルは、support.dell.com/manuals の Systems Management マニュアルのページに掲載されており、自己解凍型実行可能ファイル `Dell_Server_Management_Pack_Suite_v5.0.1_A00.exe` にも含まれています。

 **メモ:** 本マニュアル内の OpsMgr に関する言及は、特に指定のない限り、System Center Operations Manager 2007 R2、System Center 2012 Operations Manager、および System Center Essentials (SCE) 2010 に適用されます。

 **メモ:** 本マニュアルでは、Dell Remote Access Controller (DRAC) デバイスという用語は、特に指定のない限り、DRAC 5、iDRAC 6、および iDRAC 7 を参照するために使用されます。

 **メモ:** 本マニュアルでは、シャーシデバイスという用語は、特に指定のない限り、DRAC/モジュラーシャーシ (DRAC/MC) と Chassis Management Controller (CMC) の両方を参照するために使用されます。

Dell Server Management Pack Suite の新機能

表 1. 新機能と機能性

新機能	機能性
System Center 2012 Operations Manager	System Center 2012 Operations Manager をサポートします。
第 12 世代サポート	第 12 世代 Dell PowerEdge システムをサポートします。
システムの帯域外検出と監視	第 12 世代 PowerEdge システム (オペレーティングシステムなしのシステム、または Windows、Linux、ESXi オペレーティングシステムを実行しているシステム) の帯域外検出と監視をサポートします。対応オペレーティングシステムの詳細に関しては、 support.dell.com/manuals にある『 <i>OpenManage Software Support Matrix</i> 』 (OpenManage ソフトウェアサポートマトリクス) を参照してください。
保証情報	検出された Dell システムの保証情報を提供します。  メモ: この機能には、アクティブなインターネット接続が必要です。

新機能	機能性
Dell OpenManage Power Center	OpsMgr を使用して Dell OpenManage Power Center コンソールを起動します。
Dell License Manager アラートの保持	Dell License Manager コンソールを起動します。 最新バージョンへの OpsMgr のアップグレード中、アラートを保持します。
機能監視	特定の監視機能で必要とされる、すべての管理パックとその依存関係をインポート、アップグレード、削除できます。
インストーラ	OpsMgr 環境内における Dell Server Management Pack Suite の容易な統合を可能にします。
新しいコンソール起動タスク	iDRAC 7 用に Remote Desktop を起動します。 iDRAC 7 用に Dell OpenManage Server Administrator を起動します。 Dell License Manager を起動します。 Dell Connections License Manager を起動します。
DRAC デバイス用のトラップ送信先設定	DRAC7 デバイス用のトラップ送信先を自動的に設定します。
帯域外検出されたシステムおよび監視対象システムのシャーシブレード関連	CMC シャーシと、帯域外検出されたシステムおよび監視対象システムの間的相关関係を検出します。

Dell Server Management Pack Suite の主要機能

本バージョンの Dell Server Management Pack Suite は、Windows オペレーティングシステムで実行される Dell システム、および帯域外 Dell デバイスを管理するための以下の機能を提供します。

表 2. 機能と機能性

機能	機能性
iDRAC vFlash カードの検出と監視	iDRAC vFlash カードおよび iDRAC ネットワークインタフェースの帯域内検出および監視をサポートします。
イベント監視	次をサポートします。 <ul style="list-style-type: none"> • OpenManage Server Administrator バージョン 6.2~7.0 からのイベント • DRAC デバイスのプラットフォームイベントトラップ (PET) • DRAC デバイスからの SNMP トラップ • シャーシデバイスからの SNMP トラップ
サーバーネットワークインタフェースカードの検出と監視	次をサポートします。 <ul style="list-style-type: none"> • Broadcom および Intel ネットワークインタフェースカード (NIC) の物理ネットワークインタフェースおよびチーミングされたネットワークインタフェースの帯域内検出と監視。 • Server Administrator バージョン 6.2.0.1~7.0 を実行しているシステム上の NIC のエンリッチプロパティおよび属性の表示。

機能	機能性
	<ul style="list-style-type: none"> • ネットワークインタフェースアラート ビューでのリンクアップおよびリンクダウンアラート。 • Dell モジュラーシステム および Dell モノリシックシステム ダイアグラムビューでの、Server Administrator バージョン 6.2.0.1~7.0 の物理インタフェースおよびチーミングされたネットワークインタフェースの相関。
帯域内検出と監視 - Dell システム	対応 Windows オペレーティングシステムを実行している Dell PowerEdge および PowerVault モノリシックシステムとモジュラーシステムの帯域内検出と監視をサポートします。
帯域外検出と監視 - シャーシ管理	<p>次をサポートします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Dell CMC および DRAC/MC デバイスの帯域外検出と監視。 • CMC および DRAC/MC シャーシのサーバーモジュールおよびシャーシスロットサマリの検出対応。 • CMC および DRAC/MC デバイスの SNMP トラップ。
帯域外検出と監視 - Dell Remote Access Controller (DRAC)	<p>次をサポートします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 対応 DRAC デバイスの帯域外検出と監視。 • DRAC デバイスの SNMP および PET。
シャーシブレード相関	Dell サーバーと CMC サーバーモジュールおよび DRAC/MC シャーシとの相関をサポートします。
パフォーマンスの監視	<p>次をサポートします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • パフォーマンス ビューと 電源監視 ビューを使用した電源および温度統計。 • Server Administrator バージョン 6.2.0.1~7.0 の物理ネットワークインタフェースおよびチーミングされたネットワークインタフェースのパフォーマンスグラフ。
詳細監視	<p>次をサポートします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 拡張性要件に基づいた Dell システムの監視レベル選択における柔軟性。 • Server Administrator を使用した、情報警告の有効化による詳細監視。
タスクの起動	<p>以下を起動します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Dell OpenManage Server Administrator コンソール。 • Dell Remote Access コンソール。 • Dell CMC コンソール。 • Dell Modular Chassis Remote Access コンソール。 • Remote Desktop コンソール。 • Dell OpenMange Power Center コンソール。 • Dell Connections License Manager ウェブコンソール。


機能	機能性
	<ul style="list-style-type: none"> • Dell 保証情報 ウェブページ。 • iDRAC コンソール。 • Dell License Manager コンソール。
サーバーの帯域外検出と監視	<p>詳細に関しては、「タスク」を参照してください。 次をサポートします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 第 12 世代 Dell PowerEdge システムの帯域外検出と監視。 • 帯域外システムの SNMP トラップ。


Dell Server Management Pack Suite

次の表では、本バージョンの管理パックとユーティリティ、およびそれらの相互依存性をリストします。

表 3. 管理パックの機能性と依存性

管理パックまたはユーティリティ	説明	依存関係
Dell Base Hardware Library	OpsMgr コンソールの 監視 ペインで Dell ハードウェアグループと Dell フォルダを定義するための管理パックです。	なし
Dell Windows Server (拡張可能エディション)	サポートされている PowerEdge および PowerVault をコンポーネントグループレベルまで管理するための管理パックです。	Dell Base Hardware Library MP Dell Server Model MP Dell Server Operations Library MP Dell Server View MP
Dell Windows Server (詳細エディション)	サポートされている PowerEdge および PowerVault をコンポーネントレベルまで計装するための管理パックです。	Dell Base Hardware Library MP Dell Server Model MP Dell Server Operations Library MP Dell Server View MP
	 メモ: この管理パックは、Dell Server (帯域内) Monitoring では 300 ノード未満、Dell Server (帯域外) Monitoring では 30 ノード未満を監視しているときに使用します。	Dell Windows Server (拡張可能エディション) MP
Dell Windows Server Overrides (情報アラートオン)	Dell OpenManage System Administrator からの情報アラートの監視を可能にするユーティリティです。	Dell Base Hardware Library MP Dell Server Model MP Dell Server Operations Library MP Dell Server View MP Dell Windows Server (拡張可能エディション) MP
Dell CMC (SCOM 2007/SCE 2010) Dell CMC (SC12 OM) MP	CMC および DRAC/MC シャーシの検出および監視用の管理パックです。	Dell Base Hardware Library MP Dell CMC Model MP Dell CMC Operations Library MP Dell CMC View MP

管理パックまたはユーティリティ	説明	依存関係
Dell DRAC (SCOM 2007/SCE 2010) MP Dell DRAC (SC12 OM) MP	Dell Remote Access Card (DRAC 5、iDRAC モジュールおよび iDRAC モノリシック) の検出および監視用の管理パックです。	Dell Common Operations Library MP Dell Base Hardware Library MP Dell DRAC Model MP Dell DRAC View MP Dell DRAC Operations Library MP Dell Common Operations Library MP
Chassis Blade Correlation Utility	Dell モジュールシステムを CMC および DRAC/MC スロットと関連させるための管理パックです。 このユーティリティは、OpsMgr 2007 R2 および OpsMgr 2012 のみでサポートされています。  メモ: 関連機能を動作させるには、 Run As アカウント を設定し、 CMC スロット検出 および/ DRAC/MC スロット検出 を有効化する必要があります。詳細については、 support.dell.com/manuals で『 <i>Dell Server Management Pack Suite Version 5.0.1 For Microsoft System Center Operations Manager And System Center Essentials Installation Guide</i> 』(Microsoft System Center Operations Manager および System Center Essentials 向けの Dell Server Management Pack Suite バージョン 5.0.1 のインストールガイド) の「シャード関連要件」の項を参照してください。	Dell Base Hardware Library MP Dell Windows Server (拡張可能エディション) MP Dell Server Model MP Dell CMC (SCOM 2007/SCE 2010) MP または Dell CMC (SC12 OM) MP
Dell Server (帯域外) Management Pack	Dell PowerEdge システムをコンポーネントグループレベルまで検出し、監視するための管理パックです。	Dell Base Hardware Library MP Dell Server Model MP Dell Server Operations Library MP Dell Server View MP Dell Common Operations Library MP Microsoft System Center Out-of-Band Library (MPB)

管理パックまたはユーティリティ	説明	依存関係
		 メモ: マイクロソフト SMASH ライブラリファイル (MPB) のインストールについての情報は、 support.dell.com/manuals にある『 <i>Dell Server Management Pack Suite Version 5.0.1 For Microsoft System Center Operations Manager and System Center Essentials Installation Guide</i> 』(Microsoft System Center Operations Manager および System Center Essentials 向けの Dell Server Management Pack Suite バージョン 5.0.1 のインストールガイド)の「帯域外監視テンプレートのインストール」の項を参照してください。
Dell Server (帯域外) Detailed Monitoring On - Overrides MP	Dell PowerEdge システムをコンポーネントレベルまで検出し、監視するための管理パックです。	Dell Base Hardware Library MP Dell Server (帯域外) MP
Dell Monitoring Feature MP	OpsMgr で使用可能な Dell Server Management Pack Suite 機能の検出、監視、およびアップグレードのための管理パックです。	Dell Base Hardware Library MP

拡張可能エディションと詳細エディションの機能比較

次の表は、Dell Windows Server および Dell Server (Out-Of-Band) Management Pack の拡張可能エディションと詳細エディションを使用できる環境を理解するために役立ちます。

表 4. 拡張可能管理パックと詳細管理パックの違い

機能性	拡張可能エディション	詳細エディション
コンポーネント階層	拡張可能 MP は、コンポーネントグループまでの詳細と、iDRAC の存在を表示します。	詳細 MP は、コンポーネントレベルまでの詳細を表示します。詳細 MP は、メモリ、プロセッサ、ネットワークインタフェース、ストレージコントローラ、ディスク、ボリュームなどについての追加レベルの情報を提供します。さらに、BIOS 情報も表示されます。
レポート	この管理パックでは、OpenManage Windows イベントログのレポートのみを利用できます。	この管理パックでは、BIOS 設定、ファームウェアとドライバのバージョン、保証および RAID 構成の各種レポートを利用できます。

Dell Server Management Pack の機能性概要

OpsMgr の Dell Server Management Pack Suite では、以下を行うことができます。

1. Dell サーバー、Dell Remote Access Controllers (DRAC)、Dell Chassis Management Controllers (CMC)、および Integrated DRAC (iDRAC) の検出およびグループ化。
詳細に関しては、「[検出とグループ化](#)」を参照してください。
2. 検出された Dell システムとネットワークデバイスの監視。
詳細に関しては、「[監視](#)」を参照してください。
3. 検出された Dell システムとネットワークデバイスにおける様々なタスクの実行。
詳細に関しては、「[タスク](#)」を参照してください。
4. 検出された Dell システムのレポートの表示。
詳細に関しては、「[レポート](#)」を参照してください。


検出とグループ化

Dell Server Management Pack Suite バージョン 5.0.1 では、Dell サーバー、Dell Remote Access Controller (DRAC)、Dell Chassis Management Controller (CMC)、および Integrated DRAC (iDRAC) を検出してグループ化できます。

以下の表は、Dell Server Management Pack Suite によるハードウェア検出とグループ化の詳細をリストしています。

表 5. Dell ハードウェアの検出とグループ化

グループ	監視機能	ダイアグラムビュー	ハードウェアタイプ
Dell Windows サーバー	Dell サーバー帯域内監視	Dell モノリシックサーバー Dell モジュラーサーバー	OpenManage Server Administrator (バージョン 6.2 およびそれ以降) を実行する Dell PowerEdge と PowerVault。
Dell サーバー	Dell サーバー帯域外監視	Dell モノリシックサーバー Dell モジュラーサーバー	Dell PowerEdge システム
Dell CMC	Dell CMC 監視	Dell Chassis Management Controller	ネットワーク上の CMC、DRAC/MC インスタンス、および CMC と DRAC/MC のシャーシスロットサマリとサーバーモジュール。
Dell Remote Access Controller	Dell DRAC 監視	Remote Access Controller	DRAC 5、iDRAC モジュラー、および iDRAC モノリシックインスタンス。

 **メモ:** Dell Remote Access Controller 監視機能は、xx0x iDRAC モジュラーコントローラの検出をサポートしません。これらのデバイスは、サーバー（帯域内）監視機能の拡張可能エディションで管理できます。

サーバー（帯域内）監視機能を使用した Dell システムの検出

Dell Windows システムは、OpsMgr エージェント管理インフラストラクチャを介して検出されます。

Dell Windows システムを検出するには、Dell Windows システムが OpsMgr コンソールの **管理** セクションにある **管理されるエージェント** に表示されている必要があります。


 **メモ:** Dell OpenManage Server Administrator (OSMA) がインストールされていない、またはバージョン 6.2 より前の OSMA がインストールされている Dell Windows システムは、Dell 管理対象外としてグループ化されます。

Dell サーバー（帯域内）監視機能を使用して Dell システムを検出するには、次の手順を実行します。


1. OpsMgr 管理者として管理サーバーにログオンします。
2. OpsMgr コンソールで、**管理** をクリックします。
3. ナビゲーションペイン下部の **検出ウィザード** をクリックします。
4. 検出ウィザードを実行し、**Windows コンピュータ** を選択して、画面上の指示に従います。

詳細に関しては、technet.microsoft.comにある OpsMgr マニュアルを参照してください。

サーバー（帯域外）監視機能を使用した Dell システムの検出


 **メモ:** サーバー（帯域外）監視機能を使用して Dell システムを検出する前に、Dell Connections License Server の URL を設定してセットアップしておく必要があります。詳細に関しては、「[Dell Connections License Manager URL の設定](#)」を参照してください。

Dell サーバー（帯域外）監視機能を使用して Dell システムを検出するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr 管理グループの管理者として OpsMgr 2012 にログオンします。
2. OpsMgr コンソールで、**オーサリング** をクリックします。
3. ナビゲーションペイン下部で **監視追加ウィザード** をクリックします。
監視追加ウィザード画面です。
4. **監視タイプの選択** 画面で、**WS-Management** と **SMASH デバイス検出** を選択して、**次へ** をクリックします。
 **メモ:** マイクロソフト SMASH ライブラリファイル (MPB) がインストールされている必要があります。マイクロソフト SMASH ライブラリファイル (MPB) ファイルのインストールの詳細は、support.dell.com/manuals にある『*Dell Server Management Pack Suite Version 5.0.1 For Microsoft System Center Operations Manager and System Center Essentials Installation Guide*』（マイクロソフト System Center Operations Manager および System Center Essentials 向けの Dell Server Management Pack Suite バージョン 5.0.1 のインストールガイド）の「帯域外監視テンプレートのインストール」の項を参照してください。.
5. **一般プロパティ** 画面の **名前** フィールドに、ウィザードを識別する名前を入力します。
6. **管理パック** で、**新規** をクリックします。
管理パックの作成 画面が表示されます。
7. **名前** フィールドで管理パックの名前を入力して、**新規** をクリックします。
管理パックの作成についての情報は、technet.microsoft.com にある OpsMgr マニュアルを参照してください。
8. **作成** をクリックします
管理パック ドロップダウンボックスで、作成された管理パックが選択されています。
9. **次へ** をクリックします。
10. **ターゲットの指定** ドロップダウンメニューで、**すべての管理サーバーリソースプール** を選択して、**次へ** をクリックします。
11. **検出の実行に使用するアカウントの指定** 画面で、**新規** をクリックして、**シンプル認証タイプ** の Run As アカウントを作成します。
Run As アカウントの作成の詳細は、「[シンプル認証 Run As アカウントの作成](#)」を参照してください。
12. **Run As アカウント** ドロップダウンメニューから、作成した Run As アカウントを選択して、**次へ** をクリックします。
13. **追加** をクリックします。
14. **デバイスの追加** 画面で、サーバー（帯域外）監視機能を使用して監視したいシステムの iDRAC IP アドレスを指定します。以下の方法で指定できます。
 - 提供した **IP サブネット** をスキャンする。
 - 指定された **IP 範囲** をスキャンする。
 - iDRAC IP アドレスのリストを含むテキストファイルをインポートする。
15. **詳細オプション** をクリックし、**CA チェックを省略** および **CN チェックを省略** オプションを選択して、**OK** をクリックします。


16. **デバイスのスキャン** をクリックして、ネットワーク上にある第 12 世代の Dell PowerEdge システムを検索します。
IP アドレスが **使用可能デバイス** にリストされます。
17. **追加** をクリックして、監視したい IP アドレスのリストを追加し、**OK** をクリックします。
18. **監視したいデバイスの指定** 画面で、**作成** をクリックします。
19. ウィザードが完了したら、**閉じる** をクリックします。
スキャンされた Dell システムは、当初 **監視 → WS-Management** と **SMASH 監視 → WS-Management デバイス状況** 画面に表示されます。自動的にトリガされる SMASH 検出が OpsMgr によって完了されると、Dell システムは **監視 → WS-Management** と **SMASH 監視 → SMASH デバイス状況** 画面に表示されます。

シンプル認証 Run As アカウントの作成

1. OpsMgr 管理グループの管理者として OpsMgr 2012 にログオンします。
 2. OpsMgr コンソールで、**管理** をクリックします。
 3. **アカウント** を右クリックして、**Run As アカウントの作成** をクリックします。
Run As アカウントの作成ウィザード 画面が表示されます。
 4. **次へ** をクリックします。
 5. **Run As アカウントタイプ** ドロップダウンメニューから、**シンプル認証** を選択します。
 6. **表示名** と **説明** テキストボックスに表示名と簡潔な説明を入力して、**次へ** をクリックします。
 7. **資格情報** 画面で、サーバー（帯域外）監視機能を使用して検出したいシステムの iDRAC ログイン資格情報を入力します。**次へ** をクリックします。
 8. 必要に応じて **低セキュリティ** または **高セキュリティ** オプションを選択します。
詳細に関しては、technet.microsoft.com/en-us/library/hh321655.aspx の OpsMgr マニュアルを参照してください。
-  **メモ:** 2 台のデバイスの iDRAC ログイン資格情報が異なる場合は、それぞれに個別の Run As アカウントを作成します。
9. **作成** をクリックします
 10. **Run As アカウント** が作成されたら、**閉じる** をクリックします。

DRAC およびシャーシデバイスの検出

DRAC およびシャーシデバイスを検出するには、次の手順を実行します。

1. 「[サーバー（帯域内）監視機能を使用した Dell システムの検出](#)」にある手順 1 と 2 を行います。
 2. **検出ウィザード** を実行し、**ネットワークデバイス** を選択して、画面上の指示に従います。
詳細に関しては、technet.microsoft.com にある OpsMgr マニュアルを参照してください。
-  **メモ:** DRAC とシャーシデバイスの検出用に作成した **Run As アカウント** を選択します。詳細に関しては、support.dell.com/manuals にある『*Dell Server Management Pack Suite Version 5.0.1 For Microsoft System Center Operations Manager And System Center Essentials Installation Guide*』（Microsoft System Center Operations Manager および System Center Essentials 向けの Dell Server Management Pack Suite バージョン 5.0.1 のインストールガイド）の「サーバーモジュールとシャーシスロットサマリを検出するための Dell Chassis Management Controller Management Pack の設定」セクションを参照してください。
-  **メモ:** OpsMgr 2012 の **デバイスコンソールの追加** 画面で、スキャンしたい IP アドレスを入力し、SNMP V1 または V2 の **Run As アカウント** ドロップダウンボックスから適切な Run As アカウントを選択します。

OpsMgr 2012 のための拡張性の推奨

分散型セットアップにおける多数ネットワークデバイスの管理時、同じ管理グループがエージェントベースのデバイスの管理にも使用されている場合、デバイスタイプごとに管理サーバーの専用リソースプールを使用してください。

1. CMC および DRAC などの各タイプのネットワークデバイスを管理するための専用リソースプールを作成します。
2. 特定のタイプのネットワークデバイスを管理する管理サーバーを、対応するリソースプールに追加します。
3. すべての管理サーバー リソースプールから、これらの管理サーバーを削除します。

Dell Server Management Pack Suite による検出

以下の表には、Dell Server Management Pack Suite によって検出される Dell サーバー、CMC、DRAC、およびそのコンポーネントが示されています。

Dell サーバー（帯域内）監視機能による検出

表 6. Dell サーバー（帯域内）監視機能の検出

検出	説明
Dell サーバー BIOS 詳細検出	各 Dell システムの BIOS オブジェクトを検出します（詳細エディションのみ）。
Dell サーバー検出	Dell システムを分類し、属性（OpenManage Server Administrator の起動ポイント、DRAC、IPMI 機能を備えたりリモートアクセス IP など）にデータ投入します。
Dell サーバーハードウェアコンポーネント検出	グループレベルのハードウェアコンポーネント（センサー、プロセッサ、メモリ、および電源装置）を検出します。
Dell OpenManage Software サービス検出	OpenManage Server Administrator Windows サービスおよび WMI のオブジェクトを検出します。
Dell サーバーメモリ詳細検出	Dell システムのメモリインスタンスを検出します（詳細エディションのみ）。
Dell サーバー電源装置詳細検出	Dell システムの電源装置インスタンスを検出します（詳細エディションのみ）。
Dell サーバープロセッサ詳細検出	Dell システムのプロセッサインスタンスを検出します（詳細エディションのみ）。
Dell サーバーストレージ詳細検出	Dell システムの完全なストレージ階層を検出します（詳細エディションのみ）。
Dell サーバーネットワークインタフェース検出	Dell システムのネットワークインタフェースグループレベルを検出します。
Dell Windows サーバーネットワークインタフェース詳細検出モジュール	Dell システムの物理インスタンスおよびチーミングされたネットワークインタフェースインスタンスを検出します（詳細エディションのみ）。
Dell Windows サーバーネットワークインタフェースグループ検出モジュール	ネットワークインタフェースグループを検出します。

検出	説明
Dell 管理対象外サーバーグループ検出	Dell 計装がない、または計装のバージョンが必要なバージョンより前のものであるために監視されていない Dell システムを検出します。

Dell サーバー（帯域外）監視機能による検出

表 7. Dell サーバー（帯域外）監視機能の検出

検出オブジェクト	説明
Dell サーバー検出	お使いの Dell システムを分類し、基本属性にデータを投入します。
Dell レジストリ検出	レジストリ内の管理サーバーの基本名を設定します。
Dell Device Helper 検出	DellDeviceHelper.dll をオブジェクトとして検出します。

DRAC 監視機能による検出

表 8. DRAC 監視機能の検出

検出オブジェクト	説明
Dell Integrated Remote Access モジュールグループ検出	iDRAC（モジュール）グループを検出してデータ投入します。
Dell Remote Access グループ検出	Dell Remote Access グループを検出し、iDRAC にデータ投入します。
Dell Integrated Remote Access モノリシックグループ検出	Dell Integrated Remote Access モノリシックグループと iDRAC（モノリシック）を検出します。
Dell Remote Access 5 グループ検出	Dell Remote Access 5 グループを検出し、Dell Remote Access Controller 5 を投入します。
Dell Integrated Remote Access モジュール検出	モジュールシステム用 Dell Integrated Remote Access Controller のシャーシ名とシャーシサービスタグを検出します。
DRAC 5 または iDRAC 検出	サポートされている Dell Remote Access 5 Controller および Integrated Remote Access Controller をすべて検出します。

Dell シャーシ監視機能による検出

表 9. Dell シャーシ監視機能の検出

検出オブジェクト	説明
Dell CMC 検出	サポートされている Dell CMC をすべてを検出します。
Dell CMC スロット検出	サポートされている Dell CMC サーバーモジュールのすべて、およびシャーシスロットサマリを検出します。
Dell DRAC/MC 検出	サポートされている Dell DRAC/MC をすべて検出します。

検出オブジェクト	説明
Dell DRAC/MC スロット検出	サポートされている Dell DRAC/MC サーバーモジュールのすべて、およびシャーシスロットサマリを検出します。

シャーシブレード関連機能による検出

表 10. シャーシブレード関連機能の検出

検出オブジェクト	説明
Dell CMC シャーシからモジュラーサーバーへの関連検出	CMC シャーシと Dell モジュラーシステムの相関関係を検出します。
Dell DRAC/MC シャーシからモジュラーサーバーへの関連検出	DRAC/MC シャーシと Dell モジュラーシステムの相関関係を検出します。

Dell Common Operations Library Management Pack による検出

表 11. Dell Common Operations Library Management Pack の検出

検出オブジェクト	説明
Dell レジストリ検出	レジストリ内の管理サーバーの基本名を設定します。
Dell ライセンス設定検出	Dell Connections License Manager のウェブサーバー URL を設定します。
Dell Feature Management ホスト検出	管理サーバー一連から、Feature Management Dashboard を実行するためのホストサーバーを選択します。
Dell レジストリベースの Server Management Suite 検出	インストールされている Server Management Pack Suite のレジストリをチェックして、ベースオブジェクトを作成します。

オブジェクト検出のカスタマイズ


オブジェクト検出は、監視が必要なネットワーク上のオブジェクトを見つけるために使用されます。

Server Management Pack Suite 検出パラメータは、以下の上書きオプションを使用してカスタマイズできます。

- **有効**：検出を有効または無効にします。検出を有効または無効にするには、**上書き設定** を **True** または **False** を選択することができます。
- **間隔秒数**：サーバー監視機能がお使いの Dell システムのコンポーネントインスタンスおよび属性を検出する頻度（秒単位）です。この属性のデフォルト値は **24 時間（1 日）** です。

監視

本バージョンの Dell Server Management Pack Suite では、検出された Dell システムとネットワークデバイスを監視できます。[重要度レベルのインジケータ](#) は、ネットワーク上の Dell デバイスの正常性を監視するために役立ちます。

 **メモ:** OpsMgr 2012 を実行しているシステムでアラートを受信するには、support.dell.com/manuals にある『*Dell Server Management Pack Suite Version 5.0.1 For Microsoft System Center Operations Manager And System Center Essentials Installation Guide*』（Microsoft System Center Operations Manager および System Center Essentials 向けの Dell Server Management Pack Suite バージョン 5.0.1 のインストールガイド）の「トラップの監視とトラップベースのユニット監視を有効化するための OpsMgr 2012 の設定」の項を参照してください。

監視には以下が含まれます。




- Dell モジュラーおよびモノリシックシステムで実行されている Dell OpenManage Server Administrator (Server Administrator) エージェントによって提示されたイベントを処理し、OpsMgr コンソールでアラートを表示。
- Dell モジュラーとモノリシックシステム、およびそれらのコンポーネント、シャーシ、および DRAC デバイスの状態を、両方において定期的間隔、およびイベントの発生時に監視。
- SNMP トラップと、Dell サーバー（サーバー帯域外監視機能で検出されたもの）、CMC、DRAC/MC、および Dell Remote Access Controllers のナレッジベースを処理。



サーバー（帯域内）監視機能とサーバー（帯域外）監視機能で監視されたシステムコンポーネントは完全に同じではないため、帯域内（OMSA）メソッドと帯域外（iDRAC）メソッド示される全体的なサーバー状態が異なる可能性があります。このような差異があった場合には、特定のコンポーネントのステータスにドリルダウンして、システムコンポーネント内の特定の問題状態を解決し、全体的なサーバーの状態を **OK** 状態にしてください。

重要度レベルのインジケータ

以下の表は、OpsMgr コンソールにおける検出された Dell デバイスの重要度を示すアイコンをリストしています。

表 12. 重要度レベルのインジケータ

アイコン	重要度
	正常 /OK — コンポーネントは期待どおりに動作しています。
	警告 / 非重要 — プローブまたはその他の監視デバイスが、許容レベル以上または以下の読み取り値のコンポーネントを検出しました。コンポーネントが引き続き動作している場合もありますが、故障する可能性があります。正常な機能が損なわれた状態でコンポーネントが動作している可能性もあります。
	重要 / 障害 / エラー — コンポーネントが故障しているか、故障が差し迫った状態です。コンポーネントに対して迅速な対応が必要で、交換が必要な場合もあります。データ損失が発生している可能性があります。

アイコン	重要度
	正常性状態は、特定のコンポーネントには適用されません。
	サービスを利用できません。

ビュー

Dell Server Management Pack Suite では、OpsMgr コンソールの **Dell** フォルダーに、以下の種類のビューを提供します。

- [アラートビュー](#)
- [ダイアグラムビュー](#)
- [状態ビュー](#)
- [パフォーマンスおよび電源監視ビュー](#)

アラートビュー

このビューは、Dell システム、Dell シャーシ、ネットワークインタフェース、および DRAC デバイスからのハードウェアおよびストレージイベントを監視するために使用できます。以下のアラートとトラップが Server Management Pack Suite によって表示されます。

- Dell PowerEdge および PowerVault システムの Server Administrator から受け取ったイベントのアラート。
 - **メモ:** 情報アラートはデフォルトではオフになっています。情報アラートを有効にするには、**Feature Management Dashboard** で Dell サーバー（帯域内）監視の **情報アラートをオンに設定**（サーバー帯域内）タスクを実行します。詳細に関しては、「[機能管理タスク](#)」を参照してください。
- Dell PowerEdge システムの Broadcom および Intel ネットワークインタフェースカードから受け取ったイベントのリンクアップまたはリンクダウンアラート。
- DRAC およびシャーシデバイスによって送信された SNMP トラップ。
- Dell システムのプラットフォームイベントトラップ（PET）。

OpsMgr コンソールでのアラートの表示

OpsMgr コンソールでアラートを表示するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソール を起動して、**監視** をクリックします。


2. **Dell** → **アラートビュー** とクリックします。

次の個別の **アラートビュー** が表示されます。

- **CMC アラート** — 検出されたシャーシデバイスからの SNMP トラップが表示されます。
- **ネットワークインタフェースアラート** — 検出された NIC からのリンクアップおよびリンクダウンアラートが表示されます。
- **DRAC/MC アラート** — 検出された DRAC/MC デバイスからのイベントと SNMP トラップ（NIC 用）、および iDRAC 7 を備えた 12 世代 PowerEdge サーバー用の SNMP トラップが表示されます。
- **PET トラップアラート** — 検出された Dell システムからのプラットフォームイベントトラップが表示されます。
- **Remote Access アラート** — DRAC 5、iDRAC 6、および iDRAC 7 デバイスからの SNMP トラップが表示されます。

- **サーバーアラート** — Dell システムからの **Server Administrator** アラート、Dell システム上の NIC からのリンクアップおよびリンクダウンアラート、および iDRAC 7 を備えた 12 世代 PowerEdge サーバー用の **SNMP** トラップが表示されます。
3. 任意の **アラートビュー** を選択します。
各 **アラートビュー** の右ペインに、アラートの重要度、解決状況などのユーザー指定の条件を満たすアラート、またはユーザーに割り当てられたアラートが表示されます。
 4. アラートを選択し、**警告詳細** ペインで詳細を表示します。

アラートビュー のいずれかにリストされたアラートを選択すると、関連するタスクが **タスク** ペインに表示されます。タスクの詳細に関しては、「[タスク](#)」を参照してください。

 **メモ:** System Center Operations Manager 2007 または System Center Essentials 2010 では、タスクペインはアクションペインと呼ばれます。

ダイアグラムビュー

ダイアグラムビュー は、**Server Management Pack Suite** が管理する、すべての Dell システム、Dell シャーシデバイス、および DRAC デバイスの階層的な図を表示します。ダイアグラムビューには、**Server Management Pack Suite** によってモデル化された様々なコンポーネントのアイコンが表示されます。

OpsMgr コンソールでのダイアグラムの表示

OpsMgr コンソールでダイアグラムを表示するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールを起動して、**監視** → **Dell** → **ダイアグラムビュー** とクリックします。
2. 左側の **監視** ペインで **Dell** フォルダに移動し、次のビューを表示します。
 - [完全ダイアグラムビュー](#)
 - [モジュラーシステムダイアグラム](#)
 - [モノリシックサーバーダイアグラム](#)
 - [Remote Access Controller グループ](#)
3. 任意の **ダイアグラムビュー** を選択します。
右側のペインに、選択した **Dell** デバイスの階層的な図が表示されます。
4. ダイアグラム内のコンポーネントを選択して、**詳細ビュー** ペインに詳細を表示します。

完全ダイアグラムビュー

完全なダイアグラムビューには、OpsMgr が管理するすべての Dell デバイスが図示されます。このビューでダイアグラム内の個々のデバイスやコンポーネントを展開して、その状態を確認できます。


- モジュラーおよびモノリシックシステム
- Chassis Management Controllers および DRAC/MC デバイス
- Remote Access Controller
- Dell 管理対象外サーバー

モジュラーおよびモノリシックシステム

モノリシックサーバーダイアグラム および **モジュラーシステムダイアグラム** ビューは、以下の詳細を提供します。

- ネットワークインタフェース
 - 物理インタフェースおよびチーミングされたネットワークインタフェース (サーバー帯域内監視のみ)
 - 物理インタフェース (サーバー帯域外監視のみ)

- メモリ
- 電源装置 (モノリシックシステムのみ)
- センサー
- プロセッサ
- Dell OpenManage Software サービス (サーバー帯域内監視のみ)
- ストレージコントローラ
- BIOS オブジェクト (インベントリのみ)
- iDRAC (インベントリのみ)
 - iDRAC NIC (サーバー帯域外監視のみ)

 **メモ:** OpsMgr コンソールの **タスク** ペインから、デバイスまたはコンポーネント特有のタスクを起動できます。詳細に関しては、「[タスク](#)」を参照してください。

モジュラーシステムダイアグラム

Dell モジュラーシステムのダイアグラムビューは、すべての **Dell** モジュラーシステムのグラフィック描写が表示されます。このビューでダイアグラム内の個々のデバイスやコンポーネントを展開して、その状態を確認できます。

モノリシックサーバーダイアグラム

Dell モノリシックシステムのダイアグラムビューでは、すべての **Dell** モノリシックシステムが図示され、ダイアグラム内の個々のデバイスやコンポーネントを展開して、その状態を確認できます。

Dell サーバーインスタンスのダイアグラム

Dell システムを選択し、**Dell** モジュラーシステム または **Dell** モノリシックシステムのダイアグラム ビューから、そのシステムに固有なダイアグラムを表示します。

システム固有のダイアグラムは、次のコンポーネントのステータスを図示および表示します。

- ネットワークインタフェース
 - 物理インタフェースおよびチーミングされたネットワークインタフェース (サーバー帯域内監視のみ)
 - 物理インタフェース (サーバー帯域外監視のみ)
- メモリ
- 電源装置 (モノリシックシステムのみ)
- センサー
- プロセッサ
- Dell OpenManage Software サービス (サーバー帯域内監視のみ)
- ストレージコントローラ
- BIOS オブジェクト (インベントリのみ)
- iDRAC (インベントリのみ)
 - iDRAC NIC (サーバー帯域外監視のみ)

メモリ、プロセッサ、および電源装置コンポーネントは、詳細エディションのサーバー監視機能によって詳細に表示されます。


ストレージコントローラのコンポーネント階層

任意の **Dell** システムインスタンスダイアグラムビューで **ストレージ** コンポーネントを展開して、物理ディスク、コネクタ、仮想ディスク、コントローラ、センサー、エンクロージャなどのコンポーネントの状態と正常性を表示します。

ネットワークインタフェースのコンポーネント階層

ネットワークインタフェースグループは、**Intel** または **Broadcom** ネットワークインタフェースが存在し、**Dell Windows Server** 上で有効になっている場合にのみ作成されます。ネットワークインタフェースは、**物理イン**

タフェース および チーミングされたインタフェース グループに分類されます。ネットワークインタフェースを無効にすると、次の検出サイクル時に管理から削除されます。

 **メモ:** サーバー帯域外監視機能により、物理インタフェースは **ネットワークインタフェースカード** グループ下に表示され、**iDRAC 7** ネットワークインタフェースは **iDRAC** オブジェクトの下に表示されます。

チーミングされたネットワークインタフェースと、それに関連する物理ネットワークインタフェースの間に、参照関係が作成されます。参照関係は、**Dell Windows Server** の物理およびチーミング関係検出の **相関関係の有効化** 属性が有効になっているときのみ表示できます。詳細に関しては、「[相関関係の有効化](#)」を参照してください。

相関関係の有効化

相関関係の有効化 属性を有効にするには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールを起動します。
2. ナビゲーションペインで、**オーサリング** をクリックします。
3. **オーサリング** タブで、**管理パックオブジェクト** → **オブジェクト検出** とクリックします。
4. 画面上部で **スコープの変更** をクリックします。
スコープ管理パックオブジェクト 画面が表示されます。
5. **すべてのターゲットを表示** オプションを選択して、**検索** : フィールドに Dell と入力します。
6. **チーミングされたネットワークインタフェースインスタンス (ベーシック)** および **チーミングされたネットワークインタフェースインスタンス (エンリッチ)** オプションを選択して **OK** をクリックします。
7. **Dell Windows** サーバー物理関係およびチーミングされた関係の検出ルール → **上書き** → **オブジェクト検出の上書き** → **クラスの全オブジェクト : チーミングされたネットワークインタフェースインスタンス (エンリッチ)** を右クリックし、とクリックします。
上書きプロパティ ページが表示されます。
8. **相関関係の有効化** を選択して、**上書き値** を **True** に設定し、**OK** をクリックします。

ダイアグラムビューのネットワークインタフェースの状態ロールアップは、**ネットワークインタフェース** グループレベルまでのみ表示されます。例えば、**Dell** システムの残りのコンポーネントが正常で、1つのみ、または複数のネットワークインタフェースが重要または非重要状態である場合、正常アイコンは **Dell** システムによって表示され、重要または警告アイコンは **ネットワークインタフェース** グループによって表示されます。

ネットワークインタフェースグループから Dell サーバーへの正常性ロールアップの有効化

サーバーレベルでの状態ロールアップを表示するには、**ネットワークインタフェースグループ** から **Dell** サーバーへの **正常性ロールアップ** 依存性監視を有効化する必要があります。

監視を有効化するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールを起動します。
2. ナビゲーションペインで、**オーサリング** をクリックします。
3. 左ペインで **監視** をクリックし、**ネットワークインタフェースグループ監視** を選択します。
4. **エンティティ正常性** → **可用性** とクリックします。
5. **ネットワークインタフェースグループ** から **Dell** サーバーへの **正常性ロールアップ** を右クリックし、メニューオプションから、**上書き** → **監視の有効化** を選択します。


シャーシ管理コントローラグループ


シャーシ管理コントローラグループ ダイアグラムビューは、すべての **Dell CMC**、**DRAC/MC** デバイス、およびそれらのインベントリを図示します。シャーシ検出については、「[DRAC およびシャーシデバイスの検出](#)」を参照してください。シャーシは、モジュラーシャーシ下に検出されます。


検出された **CMC** および **DRAC/MC** シャーシに関しては、シャーシスロットサマリで使用、および未使用スロットのサマリを表示することができます。

CMC および DRAC/MC シャーシで変更されたスロット名は、ダイアグラムビューに反映されます。

Dell サーバーと、CMC および DRAC/MC シャーシのサーバーモジュールとの相関関係は、**シャーシ管理コントローラグループ** ダイアグラムに表示されます。Dell システムは、ダイアグラム内のスロットの下にあります。

 **注意:** シャーシブレード相関監視機能は、シャーシ監視機能によって検出された Dell CMC または DRAC/MC と、サーバー（帯域内および帯域外）監視機能によって検出された Dell モジュラーシステムとの間の相関関係を検出します。相関関係を検出するために、この機能は **Root Management Server (RMS)** をクエリします。多数のシャーシとモジュラーシステムを監視する時は、RMS へのクエリ数が増加し、その結果 CMC または DRAC/MC を管理する管理サーバー上の CPU 使用率が高くなります。CPU 使用率は、相関が完了すると低下します。この動作は、Dell CMC シャーシからモジュラーサーバーへの相関検出、または Dell DRAC/MC シャーシからモジュラーサーバーの相関検出に設定されている検出サイクルごと発生します。

 **メモ:** CMC および DRAC/MC スロットの検出用には、シンプル、基本、またはダイジェスト認証のみを持つ **RunAsAccount** を作成してください。詳細に関しては、support.dell.com/manuals にある『*Dell Server Management Pack Suite Version 5.0.1 For Microsoft System Center Operations Manager and System Center Essentials Installation Guide*』（Microsoft System Center Operations Manager および System Center Essentials 向けの Dell Server Management Pack Suite バージョン 5.0.1 インストールガイド）の「サーバーモジュールとシャーシスロットサマリを検出するための Dell Chassis Management Controller Management Pack の設定」セクションを参照してください。

 **メモ:** モジュラーシステムの iDRAC ファームウェアは、CMC ファームウェアとの互換性があるようにしてください。互換性がない場合、サービスタグが **該当なし** と表示され、シャーシブレード相関が不可能になる場合があります。

リモートアクセスコントローラグループ

リモートアクセスコントローラグループダイアグラムビューは、すべての DRAC 5、iDRAC 6、および iDRAC 7（モジュラーおよびモノリシック）デバイスを図示します。ダイアグラム内のコンポーネントを選択して、**詳細ビュー** ペインにそのデバイスの詳細を表示します。

状態ビュー

このビューは、Dell システム、Dell CMC と DRAC/MC、および Dell Remote Access デバイスを管理するために使用できます。OpsMgr コンソールで、**Dell** → **状態ビュー** とクリックすると、ネットワーク上で OpsMgr によって管理される各 Dell デバイスの状態が表示されます。

状態ビューを表示したいデバイスグループを選択します。例えば、**サーバー** をクリックして、お使いの Dell モノリシックおよびモジュラーシステムの状態を表示します。以下のグループの状態を表示できます。

- CMC
- 管理下サーバー（帯域内）
- 管理下サーバー（帯域外）
- 管理対象外サーバー（帯域外）
- DRAC 5
- DRAC/MC
- iDRAC 6 モジュラー
- iDRAC 6 モノリシック
- iDRAC 7 モジュラー
- iDRAC 7 モノリシック


コンポーネントの正常性は、コンポーネントに関連付けられた未解決のアラートを確認することにより取得できます。「[重要度レベルのインジケータ](#)」では、が対応する重要度レベルと共に **Server Management Pack Suite** 使用する様々な状態コンポーネントについて説明しています。


パフォーマンスおよび電源監視ビュー


パフォーマンスと電源監視を OpsMgr コンソールで表示するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソール を起動して、**監視** をクリックします。
2. **監視** ペインで、**Dell** → **パフォーマンスおよび電源監視** をクリックして、以下のビューを表示します。

- 環境温度 (セ氏)
- アンペア数 (アンペア)
- エネルギー消費量 (kWh)
- ピークアンペア数 (アンペア)
- ピーク電力 (ワット)
- 物理ネットワークインタフェース
- 電力消費量 (ワット)
- 電力消費量 (BTU/時)
- チューニングされたネットワークインタフェース
- Dell パフォーマンスビュー

 **メモ:** 電源監視は、特定の属性のための電源監視機能を備えた Dell システムのみに該当します。この機能は、サーバー帯域内監視機能の詳細エディションが存在する場合にのみ有効です。

 **メモ:** チューニングされたインタフェースおよび物理ネットワークインタフェースは、デフォルトでは無効になっており、サーバー監視帯域内機能の詳細エディションがインストールされ、存在する場合のみ表示されます。

 **メモ:** Dell パフォーマンスビューは、サーバー帯域外監視機能からのみ使用可能です。すべてのパフォーマンスメトリクスルールは、サーバー帯域外監視機能用ではデフォルトで無効になっています。

3. 個々のパフォーマンスビューからカウンタを選択し、時間範囲 (必須値) を選択します。
収集されるデータは、各システムについて図形式で表示されます。

ユニット監視は、2 回連続のサイクルでパフォーマンスカウンタを監視し、それがしきい値を超えてるかどうかをチェックします。条件違反がある場合、サーバーは状況を変更し、アラートを生成します。このユニット監視はデフォルトで無効化されています。しきい値は、OpsMgr コンソールの **オーサリング** ペインから上書き (有効化および変更) することができます。これは、サーバー帯域内監視機能の場合は、**Dell Windows サーバーオブジェクトの監視** 下、サーバー (帯域外) 監視機能の場合は **Dell サーバーオブジェクトの監視** 下にあります。

パフォーマンス情報コレクションの詳細に関しては、「[パフォーマンスコレクションルール](#)」を参照してください。

ユニット監視

ユニット監視は、監視対象オブジェクト内で発生する可能性のある様々な状態を評価します。この評価の結果が、ターゲットの正常性状態と生成されるアラートを決定します。

ユニット監視には以下が含まれます。

- **イベント監視** — この監視は Dell 計装が Windows イベントログに記録するイベントによってトリガされ、対応するオブジェクトの状態を示します。
- **ユニット監視** — 秒数間隔で設定された定期的なポーリングによってトリガされます。

以下の表は、各種 Dell 監視、およびお使いの Dell デバイスのための該当パラメータを説明しています。

サーバー（帯域内）監視機能のための Dell ユニット監視

サーバー（帯域内）監視オブジェクトで発生する可能性のある様々な状態を評価するための監視です。

表 13. サーバー（帯域内）監視機能のための Dell ユニット監視

グループ	ユニット監視
メモリ	
Dell サーバーメモリ状態	イベントおよび定期的監視
Dell サーバーメモリ冗長状態	イベントおよび定期的監視
メモリユニットインスタンス	
メモリイベント詳細監視	イベント監視
メモリユニット詳細監視	定期的監視
OpenManage Software サービス	
DSM Connection Service 可用性状態	Windows サービス
DSM Data Manager 可用性状態	Windows サービス
DSM Event Manager 可用性状態	Windows サービス
DSM Shared Service 可用性状態	Windows サービス
DSM Storage Service 可用性状態	Windows サービス
WMI Service 可用性状態	Windows サービス
電源装置	
Dell サーバー電源装置状態	イベントおよび定期的監視
電源装置ユニットのインスタンス	
電源装置詳細	イベントおよび定期的監視
プロセッサ	
Dell サーバープロセッサ状態	イベントおよび定期的監視
プロセッサユニットのインスタンス	
プロセッサ詳細	イベントおよび定期的監視
センサー	
Dell サーバーバッテリー状態	イベントおよび定期的監視
Dell サーバー電流状態	イベントおよび定期的監視
Dell サーバーファン状態	イベントおよび定期的監視
Dell サーバーイントルージョンセンサー状態	イベントおよび定期的監視
Dell サーバー温度センサー状態	イベントおよび定期的監視
Dell サーバー電圧センサー状態	イベントおよび定期的監視
ストレージコントローラ	
ストレージコントローラ状態	イベントおよび定期的監視
ストレージコントローラコネクタのインスタンス	
コントローラコネクタイベント監視	イベント
コントローラコネクタユニット監視	定期的監視

グループ	ユニット監視
ストレージコントローラ EMM のインスタンス	
エンクロージャ EMM イベント監視	イベント
エンクロージャ EMM ユニット監視	定期的監視
ストレージコントローラエンクロージャのインスタンス	
コントローラエンクロージャイベント監視	イベント
コントローラエンクロージャユニット監視	定期的監視
ストレージコントローラ物理ディスクのインスタンス	
コントローラ物理ディスクイベント監視	イベント
コントローラ物理ディスクユニット監視	定期的監視
エンクロージャ物理ディスクイベント監視	イベント
エンクロージャ物理ディスクユニット監視	定期的監視
ストレージコントローラ電源装置のインスタンス	
エンクロージャ電源装置イベント監視	イベント
エンクロージャ電源装置ユニット監視	定期的監視
ストレージコントローラセンサー	
コントローラセンサーイベントユニット監視	イベント
コントローラセンサーユニット監視	定期的監視
ストレージコントローラ仮想ディスクグループ	
	イベントおよび定期的監視
ストレージコントローラ仮想ディスクのインスタンス	
	イベントおよび定期的監視
コントローラ物理ディスクイベント監視	イベント
コントローラ物理ディスクユニット監視	定期的監視
ストレージエンクロージャ物理ディスクグループ	
	イベントおよび定期的監視
ストレージエンクロージャセンサー	
エンクロージャファンイベントユニット監視	イベント
エンクロージャファンユニット監視	定期的監視
エンクロージャ温度イベント監視	イベント
エンクロージャ温度ユニット装置	定期的監視
ネットワークインタフェースグループ (ベーシック)	
グローバルネットワークインタフェース (ベーシック) 接続性状態	イベントおよび定期的監視
ネットワークインタフェースグループ (エンリッチ)	
グローバルエンリッチネットワークインタフェース状態	イベントおよび定期的監視
グローバルネットワークインタフェース (ベーシック) 接続性状態	イベントおよび定期的監視
物理ネットワークインタフェースのインスタンス (ベーシック)	
接続状態	イベントおよび定期的監視
物理ネットワークインタフェースのインスタンス (エンリッチ)	

グループ	ユニット監視
管理状態	イベントおよび定期的監視
接続状態	イベントおよび定期的監視
リンク状態	イベントおよび定期的監視
動作状態	イベントおよび定期的監視
チーミングされたネットワークインタフェースのインスタンス (ベーシック)	
チーミングされたネットワークインタフェース (ベーシック) 可用性状態	イベントおよび定期的監視
チーミングされたネットワークインタフェースのインスタンス (エンリッチ)	
チーミングされたネットワークインタフェースのインスタンス (エンリッチ) 管理状態	イベントおよび定期的監視
チーミングされたネットワークインタフェースのインスタンス (エンリッチ) 接続状態	イベントおよび定期的監視
チーミングされたネットワークインタフェースのインスタンス (エンリッチ) リンク状態	イベントおよび定期的監視
チーミングされたネットワークインタフェースのインスタンス (エンリッチ) 動作状態	イベントおよび定期的監視
チーミングされたネットワークインタフェースのインスタンス (エンリッチ) 冗長状態	イベントおよび定期的監視

iDRAC

Dell サーバー iDRAC ネットワークインタフェース 定期的監視
監視

サーバー (帯域外) 監視機能のための Dell ユニット監視

サーバー (帯域外) 監視オブジェクトで発生する可能性のある様々な状態を評価するための監視です。

表 14. サーバー (帯域外) 監視機能のための Dell ユニット監視

グループ	ユニット監視
Dell バッテリーセンサーグループ	
Dell サーバーバッテリーグループセンサーの正常性	定期的監視
Dell バッテリーセンサー	
Dell サーバーバッテリーセンサーの正常性	定期的監視
Dell 電流センサー	
Dell サーバー電流センサーの正常性	定期的監視
Dell ファンセンサー	
Dell サーバーファンセンサーの正常性	定期的監視
Dell ファンセンサーグループ	
Dell サーバーファングループセンサーの正常性	定期的監視
Dell イントルージョンセンサー	

グループ	ユニット監視
Dell サーバーインテリジェンセンサーの正常性	定期的監視
Dell モジュラードサーバ (オペレーティングシステムあり)	
Dell サーバー Run As アカウントの関連性	定期的監視
Dell サーバーユニット監視	定期的監視
Dell モジュラードサーバ (オペレーティングシステムなし)	
Dell サーバー Run As アカウントの関連性	定期的監視
Dell サーバーユニット監視	定期的監視
Dell モノリシックサーバ (オペレーティングシステムあり)	
Dell サーバー Run As アカウントの関連性	定期的監視
Dell サーバーユニット監視	定期的監視
Dell モノリシックサーバ (オペレーティングシステムなし)	
Dell サーバー Run As アカウントの関連性	定期的監視
Dell サーバーユニット監視	定期的監視
Dell ネットワークインタフェースグループ	
Dell サーバーネットワークインタフェースグループ	定期的監視
Dell 物理ネットワークインタフェース	
Dell サーバーネットワークインタフェースユニット	定期的監視
Dell サーバー	
Dell サーバー Run As アカウントの関連性	定期的監視
Dell サーバーユニット監視	定期的監視
Dell サーバーメモリ	
Dell サーバーメモリユニット	定期的監視
Dell サーバーメモリグループ	
Dell サーバーメモリグループ	定期的監視
Dell サーバー電源装置	
Dell サーバー電源装置ユニット	定期的監視
Dell サーバー電源装置グループ	
Dell サーバー電源装置グループ	定期的監視
Dell サーバープロセッサ	
Dell サーバー CPU	定期的監視
Dell サーバープロセッサグループ	
Dell サーバープロセッサグループ	定期的監視
Dell ストレージコントローラ	
Dell サーバーストレージコントローラ	定期的監視
Dell サーバーコントローラバッテリー	

グループ	ユニット監視
Dell サーバーコントローラバッテリーユニット	定期的監視
Dell サーバーコネクタエンクロージャ	
Dell サーバーコネクタエンクロージャ	定期的監視
Dell ストレージコントローラエンクロージャ EMM	
Dell サーバーエンクロージャ EMM	定期的監視
Dell ストレージコントローラエンクロージャファンセンサー	
Dell サーバーエンクロージャファンセンサー	定期的監視
Dell ストレージコントローラエンクロージャ物理ディスク	
Dell サーバーエンクロージャ外部物理ディスク	定期的監視
Dell ストレージコントローラエンクロージャ電源装置	
Dell サーバーエンクロージャ電源装置	定期的監視
Dell ストレージコントローラエンクロージャ温度センサー	
Dell サーバー温度センサー	定期的監視
Dell ストレージコントローラ内部物理ディスク	
Dell サーバー内部物理ディスクユニット	定期的監視
Dell ストレージコントローラ物理ディスク	
Dell サーバーコントローラダイレクトアタッチ ト物理ディスク	定期的監視
Dell ストレージグループ	
Dell サーバーストレージ	定期的監視
Dell ストレージ仮想ディスク	
Dell サーバーコントローラ仮想ディスクユニッ ト	定期的監視
Dell 温度センサー	
Dell サーバー温度センサーの正常性	定期的監視
Dell 温度センサーグループ	
Dell サーバー温度センサグループの正常性	定期的監視
Dell 電圧センサー	
Dell サーバー電圧センサーの正常性	定期的監視
Dell 電圧センサーグループ	
Dell サーバーセンサー電圧グループ	定期的監視

シャーシ監視機能のための Dell ユニット監視

シャーシ監視対象オブジェクトで発生するさまざまな状況を評価するための監視です。


表 15. シャーシ監視機能のための Dell ユニット監視


グループ	ユニット監視
Dell CMC	
Dell CMC 状態	イベントおよび定期的監視
DRAC/MC	
Dell DRAC/MC 状態	イベントおよび定期的監視

DRAC 監視のための Dell ユニット監視機能

DRAC 監視対象オブジェクトで発生するさまざまな状況を評価するための監視です。

表 16. DRAC 監視のための Dell ユニット監視機能

グループ	ユニット監視
Dell Remote Access Controller 5	
Dell Remote Access 状態	イベントおよび定期的監視
 メモ: DRAC 5 および iDRAC 6 は同じユニット監視を共有します。	
iDRAC6 モジュール	
Dell Remote Access 状態	イベントおよび定期的監視
iDRAC6 モノリシック	
Dell Remote Access 状態	イベントおよび定期的監視
iDRAC7 モジュール	
Dell Remote Access 状態	イベントおよび定期的監視
コントローラグローバル状態	イベントおよび定期的監視
コントローラグローバルストレージ状態	イベントおよび定期的監視
iDRAC7 モノリシック	
Dell Remote Access 状態	イベントおよび定期的監視
コントローラグローバル状態	イベントおよび定期的監視
コントローラグローバルストレージ状態	イベントおよび定期的監視

 **メモ:** iDRAC 7 モジュールおよび iDRAC 7 モノリシックデバイスでは、Dell RAC 定期ベースおよび Dell RAC トリガーベースのユニット監視は無効になっています。

ユニット監視のカスタマイズ

上書きを使用することで、Dell Server Management Pack Suite ユニット監視の次のパラメータをカスタマイズできます。

- **有効:** 監視を有効または無効にします。監視を有効または無効にするには、**上書き設定** を **True** または **False** を選択することができます。
- **間隔秒数** — Server Management Pack Suite がコンポーネントの正常性を確認するために、Dell デバイスをポーリングする頻度 (秒数) です。

ルール

以下の項では、Dell Server Management Pack Suite に特有のルールをリストしています。

Dell システムイベント処理のルール

Dell Server Management Pack Suite は、Server Administrator、Server Administrator Storage Management イベント、DRAC、およびシャーシトラップからのルールを処理します。

Server Administrator

Server Administrator のすべての情報、警告、および重大イベントには、それぞれ該当するイベント処理のルールがあります。

これらの各ルールは、次の条件に基づいて処理されます。

- ソース名 = "Server Administrator"
- イベント ID = Server Administrator 計装イベントの実際のイベント ID
- 重大度 = 実際のイベントの重大度
- データプロバイダ = Windows システムのイベントログ

ストレージ管理

Server Administrator Storage Management Service のすべての情報、警告、および重大イベントには、それぞれ該当するイベント処理のルールがあります。

これらの各ルールは、次の条件に基づいて処理されます。

- ソース名 = "Server Administrator"
- Event ID (イベント ID) = Server Administrator Storage Management Service イベントの実際のイベント ID
- 重大度 = 実際のイベントの重大度
- データプロバイダ = Windows システムのイベントログ

DRAC、CMC、または DRAC/MC

DRAC、CMC、DRAC/MC デバイスのすべての情報、警告、および重要 SNMP トラップには、対応する SNMP トラップのルールがあります。

これらの各ルールは、次の条件に基づいて処理されます。

- ソース名 = "DRAC/CMC/DRAC/MC 名または ip"
- OID = DRAC /CMC/DRAC/MC SNMP トラップイベントの実際のトラップ ID
- 重要度 = 実際のイベントの重要度
- データプロバイダ = SNMP トラップ

Dell サーバー

サーバー（帯域外）監視機能を使用して検出された Dell サーバーのすべての情報、警告、および重要 SNMP トラップには、対応する SNMP トラップルールがあります。

これらの各ルールは、次の条件に基づいて処理されます。

- ソース名 = "Dell サーバー IP"
- OID = トラップイベントの実際のトラップ ID
- データプロバイダ = SNMP トラップイベントプロバイダ

パフォーマンスコレクションルール

OpsMgr コンソールで、**監視** → **Dell** → **パフォーマンスおよび電源監視ビュー** をクリックして、Dell システムから収集されたパフォーマンス情報を表示します。この機能は、デフォルトでは無効になっています。有効にするには、「[パフォーマンスコレクションルールの有効化](#)」を参照してください。

パフォーマンスコレクションルールは、以下のパラメータについての情報を収集します。


- 環境温度 (セ氏)
- アンペア数 (アンペア)
- エネルギー消費量 (kWh)
- ピークアンペア数 (アンペア)
- ピーク電力 (ワット)
- 物理ネットワークインタフェース
- 電力消費量 (ワット)
- 電力消費量 (BTU/時)
- チューニングされたネットワークインタフェース
- Dell パフォーマンスビュー

パフォーマンスコレクションルールの有効化

この機能を有効にするには、次の手順を実行します。


1. OpsMgr コンソールを起動して、**オーサリング** をクリックします。
2. **ルール** を選択します。
3. 有効にするルールを右クリックします。
例えば、すべての Dell システムのネットワークインタフェースの情報を収集するには、下記のルールに対して手順 4~5 を実行します。
 - 送信されたパケットの総数
 - 受信されたバイト数
 - 受信されたパケット総数
 - 送信されたバイト数
4. **上書き** → **ルールの上書き** → **クラスの全オブジェクト** と選択します。
5. **上書き** を選択し、**上書き値** を **True** にします。
6. **適用** をクリックします。

または、サーバー管理機能の詳細エディションをインポートすると、これらの無効化されたパフォーマンス (ネットワークパフォーマンスを除く) コレクションルールはデフォルトで有効化されます。

 **メモ:** ネットワーク統計はサーバー監視機能の詳細エディションでのみ定義されており、デフォルトでは無効になっています。上記の手順に従ってネットワーク統計を有効にしてください。

タスク

タスクは、OpsMgr コンソールの **タスク** ペインで使用できます。Dell ダイアグラムビューのどれかでデバイスまたはコンポーネントを選択すると、関連タスクが **タスク** ペインに表示されます。

 **メモ:** System Center Operations Manager 2007 または System Center Essentials 2010 では、タスクペインはアクションペインと呼ばれます。

すべてのタスクは、**ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** から実行できます。



タスクサマリ

以下の表では、Server Management Pack Suite を使用して実行できる Dell タスクのサマリを示します。

表 17. OpsMgr 用の Server Management Pack を使用した Dell タスク

Dell タスク	説明
Dell モジュラーとモノリシックシステムタスク (帯域内)	
ESM ログのクリア	選択したシステムの Embedded System Management (ESM) ログの内容をバックアップし、ESM ログファイルをクリアします。
Dell OpenManage Server Administrator の起動	Dell OpenManage Server Administrator を起動します。  メモ: OpenManage PServer Administrator の起動は、管理下ノードに Dell OpenManage Server Administrator がインストールされている場合にのみ可能です。
Remote Desktop の起動	選択したシステムの Remote Desktop を起動します。
電源状態のチェック	システムの全体的な電源ステータスを確認します。
強制電源オフ	オペレーティングシステムをシャットダウンせずに、システムの電源をオフにします。
帯域内 Dell Remote Access Console の起動	帯域内で検出された DRAC の DRAC Console を起動します。
パワーサイクル	電源をオフにして、しばらくしてから電源を再投入します。
正常電源オフ	最初にオペレーティングシステムをシャットダウンしてから、システムの電源をオフにします。
電源オン	システムの電源をオンにします。このオプションは、システムがオフ場合にのみ使用可能です。
電源リセット	システム電源をオフにしてから、再度オンにします。
LED 識別表示オン	選択したシステムの識別 LED を 255 秒間オンにします。
LED 識別表示オフ	選択したシステムの識別 LED をオフにします。
Dell OpenManage Power Center の起動	管理サーバー上で Dell OpenManage Power Center コンソールを起動します。

Dell タスク	説明
X32 ビット管理サーバーでの Dell License Manager の起動	32 ビットオペレーティングシステムを実行している管理システム上で Dell License Manager を起動します。
X64 ビット管理サーバーでの Dell License Manager の起動	64 ビットオペレーティングシステムを実行している管理システム上で Dell License Manager を起動します。
保証情報の取得	<p>選択したシステムの保証情報を取得します。</p> <p> メモ: 保証情報を取得するには、アクティブなインターネット接続が必要です。</p>
Dell モジュラーとモノリシックシステムタスク (帯域外)	
保証情報の取得	<p>選択したシステムの保証情報を取得します。</p> <p> メモ: 保証情報を取得するには、アクティブなインターネット接続が必要です。</p>
Dell OpenManage Server Administrator (モノリシックサーバー) の起動	<p>Dell OpenManage Server Administrator を起動します。</p> <p> メモ: OpenManage PServer Administrator の起動は、管理下ノードに Windows または Linux オペレーティングシステムと Dell OpenManage Server Administrator がインストールされている場合にのみ可能です。</p>
Remote Desktop (モノリシックサーバー) の起動	<p>選択したシステムの Remote Desktop を起動します。</p> <p> メモ: Remote Desktop の起動は、管理下ノードで Windows オペレーティングシステムがインストールされており、Remote Desktop が手動で有効化されている場合にのみ可能です。</p>
Dell OpenManage Power Center の起動	<p>選択したシステムの Dell OpenManage Power Center コンソールを起動します。</p> <p> メモ: OpenManage Power Center の起動は、管理下ノードに Windows または Linux オペレーティングシステムと OpenManage Server Administrator がインストールされている場合にのみ可能です。</p>
Dell Remote Access Console の起動	<p>帯域外の検出された iDRAC デバイスの iDRAC コンソールを起動します。</p>
Dell License Manager の起動	<p>管理システム上で Dell License Manager を起動します。</p> <p> メモ: Dell License Manager の起動は、管理下ノードに Windows または Linux オペレーティングシステムと Dell License Manager がインストールされている場合にのみ可能です。</p>
DRAC タスク	
Dell Remote Access Console の起動	<p>検出された DRAC の DRAC Console を起動します。</p>
Dell License Manager の起動	<p>管理システム上で Dell License Manager を起動します。</p>

Dell タスク	説明
Remote Desktop の起動	選択したシステムの Remote Desktop を起動します。  メモ: この機能は、iDRAC 7 を持つシステムでのみ使用可能です。
Dell OpenManage Server Administrator の起動	Dell OpenManage Server Administrator を起動します。  メモ: この機能は、iDRAC 7 を持つシステムでのみ使用可能です。
Dell シャーシタスク	
Dell CMC Console の起動	CMC コンソールを起動します。
Dell Modular Chassis Remote Access Console の起動	DRAC/MC コンソールを起動します。

機能管理タスク

以下の表は、**Feature Management Dashboard** で使用できるタスクをリストします。以下にリストされているタスクの一部は、特定の監視機能をインポートした後にのみ表示されます。






-  **メモ:** OpsMgr イベントログでは、インポート中の管理パックが既にインポートされていて再インポートできないことを示すエラーログを無視してください。これらのエラーは、監視機能のインポート中に OpsMgr に既にインポートされていたすべての依存 MP を **Feature Management Dashboard** が再インポートすると発生します。
-  **メモ:** Feature Management Dashboard を使用して別のタスクを開始する前に、タスクが完了するのを待ってください（ダッシュボードで状況アップデートの変更を表示します）。

表 18. 機能管理タスク

タスク	説明
サーバー（帯域外）監視	 メモ: OpsMgr 2012 を実行している 12 世代 PowerEdge サーバーでのみサポートされています。
License Server の設定	Dell Connections License Manager を設定します。詳細に関しては、「 Dell Connections License Manager URL の設定 」を参照してください。
 メモ: Dell サーバーは、Dell Connections License Server が設定された後にのみ検出されるため、サーバー（帯域外）監視機能をインポートする前にこのタスクを実行してください。	
Dell Connections License Manager の起動	Dell Connections License Manager コンソールを起動します。詳細に関しては、 support.dell.com/manuals の『 <i>Dell Connections License Manager User's Guide</i> 』（Dell Connections License Manager ユーザーズガイド）を参照してください。
 メモ: Dell Connections License Manager の設定中、License Manager タスクは、LicenseWebUIURL の設定が完了した後にのみ有効になります。詳細に関しては、「 Dell Connections License Manager URL の設定 」を参照してください。	

 **メモ:** License Server の設定 と Connections License Manger の起動 は、Feature Management Dashboard 上のすべての監視機能に共通のタスクです。

サーバー（帯域外）監視の優先監視メソッドとしての設定	セットアップ内の Dell サーバーが、サーバー（帯域内）監視機能とサーバー（帯域外）監視機能の両方で監視されている場合、このタスクは、サーバー（帯域外）監視機能をお使いの Dell サーバーの監視メソッドとして有効化します。
サーバー（帯域外）拡張可能機能のインポート	監視機能がインストールされていない場合、サーバー（帯域外）監視機能の拡張可能エディションがインポートされます。
サーバー（帯域外）詳細機能のインポート	監視機能がインストールされていない場合、サーバー（帯域外）監視機能の詳細エディションがインポートされます。
サーバー（帯域外）拡張可能機能への設定	システムでサーバー（帯域外）監視機能の詳細エディションが実行されている場合、Feature Management Dashboard がサーバー（帯域外）詳細機能からサーバー（帯域外）拡張可能機能に切り替わります。
サーバー（帯域外）詳細機能への設定	システムでサーバー（帯域外）監視機能の拡張可能エディションが実行されている場合、Feature Management Dashboard がサーバー（帯域外）拡張可能機能からサーバー（帯域外）詳細機能に切り替わります。
サーバー（帯域外）機能の削除	サーバー（帯域外）監視機能を削除します。
サーバー（帯域内）監視	
サーバー（帯域内）詳細機能のインポート	監視機能がインストールされていない場合、サーバー（帯域内）監視機能の詳細エディションがインポートされます。 旧バージョンの Dell Server Management Pack Suite をアップグレードしている場合、サーバー（帯域内）監視機能の詳細エディションがインポートされます。
サーバー（帯域内）拡張可能機能のインポート	監視機能がインストールされていない場合、サーバー（帯域内）監視機能の拡張可能エディションがインポートされます。 旧バージョンの Dell Server Management Pack Suite をアップグレードしている場合、サーバー（帯域内）監視機能の拡張可能エディションがインポートされます。
サーバー（帯域内）監視の優先監視メソッドとしての設定	セットアップ内の Dell サーバーが、サーバー（帯域内）監視機能とサーバー（帯域外）監視機能の両方で監視されている場合、このタスクは、サーバー（帯域内）監視機能をお使いの Dell サーバーの監視メソッドとして有効化します。
サーバー（帯域内）拡張可能機能への設定	システムでサーバー（帯域内）監視機能の詳細エディションが実行されている場合、Feature

タスク	説明
サーバー（帯域内）詳細機能への設定	<p>Management Dashboard がサーバー（帯域内）詳細機能からサーバー（帯域内）拡張可能機能に切り替わります。</p> <p>システムでサーバー（帯域内）監視機能の拡張可能エディションが実行されている場合、Feature Management Dashboard がサーバー（帯域内）拡張可能機能からサーバー（帯域内）詳細機能に切り替わります。</p>
情報アラートをオンに設定（サーバー帯域内）	サーバー（帯域内）拡張可能監視の使用中、情報アラートがオンになります。
情報アラートをオフに設定（サーバー帯域内）	サーバー（帯域内）拡張可能監視の使用中、情報アラートがオフになります。
サーバー（帯域内）機能の削除	サーバー（帯域内）監視機能を削除します。
DRAC 監視	
DRAC 監視機能のインポート	監視機能がインストールされていない場合、DRAC 監視機能がインポートされます。
DRAC 監視機能のアップグレード	旧バージョンの Dell Server Management Pack Suite をアップグレードしている場合、現在のバージョンの Dell Server Management Pack の DRAC 監視機能がインポートされます。
DRAC 監視機能の削除	DRAC 監視機能を削除します。
シャーシ監視	
シャーシ監視機能のインポート	監視機能がインストールされていない場合、シャーシ監視機能がインポートされます。
シャーシ監視機能のアップグレード	旧バージョンの Dell Server Management Pack Suite をアップグレードしている場合、現在のバージョンの Dell Server Management Pack のシャーシ監視機能がインポートされます。
シャーシ監視機能の削除	DRAC 監視機能を削除します。
シャーシモジュラーサーバー関連	
シャーシモジュラーサーバー関連機能のインポート	監視機能がインストールされていない場合、シャーシモジュラーサーバー関連機能がインポートされます。
シャーシモジュラーサーバー関連機能のアップグレード	旧バージョンの Dell Server Management Pack Suite をアップグレードしている場合、Dell Server Management Pack のシャーシモジュラーサーバー関連機能がインポートされます。
シャーシモジュラーサーバー関連機能の削除	シャーシブレード関連監視機能を削除します。


Dell モジュラーとモノリシックシステムのタスク（帯域内）

ESM ログのクリア

ハードウェアログとも呼ばれる **Server Administrator Embedded Server Management (ESM)** ログは、エラー修正コード (ECC)、システムのリセットと起動、およびブローブしきい値の変更など、ハードウェアによって生成されるすべてのシステムイベントのリストを維持します。ハードウェアエラーが表示されたときやシステムが正しく機能しないときなどに、このログを参照できます。

ESM ログのクリア タスクを行うには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、**Dell ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** から目的の Dell システムを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. **タスク ペイン**で、**Dell Windows サーバータスク** → **ESM ログのクリア** を選択します。
タスクの実行 ウィンドウが表示されます。

 **メモ:** System Center Operations Manager 2007 または System Center Essentials 2010 では、タスクペインはアクションペインと呼ばれます。


4. **実行** をクリックして、選択したデバイスの ESM ログをクリアします。

ESM ログのクリア タスクを実行すると、タスク実行画面には、開始しているタスクの結果のみが表示されます。例えば、ESM ログがクリアされていない場合でも、タスク実行画面には、成功したという結果が表示されることがあります。これは、**ESM ログのクリア** タスクの開始が成功したことを表しています。

Dell OpenManage Server Administrator の起動

Server Administrator を起動するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、**Dell ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** から目的の Dell システムを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. **タスク ペイン**で、**Dell Windows サーバータスク** → **Server Administrator の起動** と選択します。

 **メモ:** Server Management Pack Suite タスクが、Internet Explorer で Remote Console を起動します。

Remote Desktop の起動

Remote Desktop を起動するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、**Dell ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** から目的の Dell システムを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. **タスク ペイン**で、**Dell Windows サーバータスク** → **Remote Desktop の起動** を選択します。

 **メモ:** Remote Desktop の起動は、管理ノードで Remote Desktop が手動で有効化されている場合にのみ可能です。


帯域内 Dell Remote Access Console の起動

帯域内 Dell Remote Access Console を起動するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** から目的の Dell システムを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. **タスク ペイン**で、**Dell Windows サーバータスク** → **帯域内 Dell Remote Access Console の起動** と選択します。

電源状態のチェック

電源状態をチェックして、IPMI シェルを介した電源制御タスクを許可します。


-  **メモ:** アドバンス電源制御を有効にするには、デフォルトパスに **BMU** をインストールします。BMU がデフォルトパスにインストールされていなかった場合は、新しいタスクを作成します。詳細に関しては、「[アドバンス電源制御と LED 識別タスクの作成](#)」を参照してください。

システムの電源状態をチェックするには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** から目的の Dell システムを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. **タスク ペイン**で、**Dell Windows サーバータスク** → **電源状態のチェック** と選択します。

パワーサイクル

このタスクを使用して、Dell システムへの電源をオフにして、しばらくしてから電源を再投入することができます。


-  **メモ:** アドバンス電源制御を有効にするには、デフォルトパスに **BMU** をインストールします。BMU がデフォルトパスにインストールされていなかった場合は、新しいタスクを作成します。詳細に関しては、「[アドバンス電源制御と LED 識別タスクの作成](#)」を参照してください。

パワーサイクルを行うには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、**ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** から目的の Dell システムを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. **タスク ペイン**で、**Dell Windows サーバータスク** → **パワーサイクル** と選択します。

強制電源オフ

このタスクを使用して、オペレーティングシステムをシャットダウンすることなくシステムの電源を切ることができます。


-  **メモ:** アドバンス電源制御を有効にするには、デフォルトパスに **BMU** をインストールします。BMU がデフォルトパスにインストールされていなかった場合は、新しいタスクを作成します。詳細に関しては、「[アドバンス電源制御と LED 識別タスクの作成](#)」を参照してください。

システムの電源を切るには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** から目的の Dell システムを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. タスク ペインで、**Dell Windows サーバータスク** → **強制電源オフ** と選択します。

正常電源オフ

このタスクを使用して、オペレーティングシステムをシャットダウンし、システムの電源を切ることができます。


 **メモ:** アドバンス電源制御を有効にするには、デフォルトパスに **BMU** をインストールします。BMU がデフォルトパスにインストールされていなかった場合は、新しいタスクを作成します。詳細に関しては、「[アドバンス電源制御と LED 識別タスクの作成](#)」を参照してください。

システムの電源を正常に切るには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** から目的の Dell システムを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. タスク ペインで、**Dell Windows サーバータスク** → **正常電源オフ** と選択します。

電源オン

このタスクを使用して、サーバーに電源を投入します。このオプションは、システムの電源がオフになっている場合でも使用可能です。


 **メモ:** アドバンス電源制御を有効にするには、デフォルトパスに **BMU** をインストールします。BMU がデフォルトパスにインストールされていなかった場合は、新しいタスクを作成します。詳細に関しては、「[アドバンス電源制御と LED 識別タスクの作成](#)」を参照してください。

システムの電源をオンにするには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** から目的の Dell システムを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. タスク ペインで、**Dell Windows サーバータスク** → **電源オン** と選択します。

電源リセット

このタスクを使用して、システムの電源をオフにしてからオンにすることができます。


 **メモ:** アドバンス電源制御を有効にするには、デフォルトパスに **BMU** をインストールします。BMU がデフォルトパスにインストールされていなかった場合は、新しいタスクを作成します。詳細に関しては、「[アドバンス電源制御と LED 識別タスクの作成](#)」を参照してください。

システムの電源をリセットするには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** から目的の Dell システムを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. タスク ペインで、**Dell Windows サーバータスク** → **電源リセット** と選択します。

LED 識別表示オフ

このタスクを実行して、選択したシステムの LED 識別表示をオフにできます。


 **メモ:** アドバンス電源制御を有効にするには、デフォルトパスに **BMU** をインストールします。BMU がデフォルトパスにインストールされていなかった場合は、新しいタスクを作成します。詳細に関しては、「[アドバンス電源制御と LED 識別タスクの作成](#)」を参照してください。

LED 識別表示をオフにするには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** から Dell システムを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. **タスク ペイン**で、**Dell Windows サーバータスク** → **LED 識別表示をオフにする** と選択します。

LED 識別表示オン

このタスクを使用して、選択したシステムの LED 識別表示をオンにできます。

 **メモ:** アドバンス電源制御を有効にするには、デフォルトパスに **BMU** をインストールします。BMU がデフォルトパスにインストールされていなかった場合は、新しいタスクを作成します。詳細に関しては、「[アドバンス電源制御と LED 識別タスクの作成](#)」を参照してください。

LED 識別表示をオンにするには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** から目的の Dell システムを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. **タスク ペイン**で、**Dell Windows サーバータスク** → **LED 識別表示をオンにする** と選択します。

保証情報の取得

このタスクを使用して、選択したシステムの保証状態を確認できます。

保証情報を取得するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** から目的の Dell システムを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. **タスク ペイン**で、**Dell Windows サーバータスク** → **保証情報の取得** と選択します。

Dell OpenManage Power Center の起動


このタスクを使用して、OpenManage Power Center コンソールを起動できます。

Dell OpenManage Power Center を起動するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** から目的の Dell システムを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. **タスク ペイン**で、**Dell Windows サーバータスク** → **Dell OpenManage Power Center の起動** と選択します。

X32 ビット管理サーバーでの Dell License Manager の起動

このタスクを使用して、32 ビットオペレーティングシステムを実行している管理サーバーで Dell License Manager を起動できます。Dell License Manager は、Dell iDRAC ライセンスのための 1 対多ライセンス展開およびレポートツールです。


 **メモ:** Dell License Manager がデフォルトのパスにインストールされていない場合は、Dell License Manager を起動するための新しいタスクを作成します。詳細に関しては、「[License Manager 起動タスクの作成](#)」を参照してください。

Dell License Manager を起動するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** から目的の Dell システムを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. **タスク ペイン**で、**Dell Windows Server タスク** → **X32 ビット管理サーバーで Dell License Manager を起動** と選択します。

X64 ビット管理サーバー上での Dell License Manager の起動

このタスクを使用して、64 ビットオペレーティングシステムを実行している管理システムで Dell License Manager を起動できます。Dell License Manager は、Dell iDRAC ライセンスのための 1 対多ライセンス展開およびレポートツールです。

 **メモ:** Dell License Manager がデフォルトのパスにインストールされていない場合は、Dell License Manager を起動するための新しいタスクを作成します。詳細に関しては、「[License Manager 起動タスクの作成](#)」を参照してください。

Dell License Manager を起動するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** から目的の Dell システムを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. **タスク ペイン**で、**Dell Windows Server タスク** → **X64 ビット管理サーバーで Dell License Manager を起動** と選択します。

Dell モジュールとモノリシックシステムタスク（帯域外）


保証情報の取得

このタスクを使用して、選択したシステムの保証状態を確認できます。

保証情報を取得するには、次の手順を実行します。


1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** から目的の Dell システムを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. **タスク ペイン**で、**Dell サーバータスク** → **保証情報の取得** と選択します。

Dell OpenManage Server Administrator (モノリシックサーバー) の起動


 **メモ:** OpenManage PServer Administrator の起動は、管理下ノードに Windows または Linux オペレーティングシステムと OpenManage Server Administrator がインストールされている場合にものみ可能です。

モノリシックサーバーの OpsMgr コンソールから Server Administrator を起動するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** から目的の Dell システムを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. **タスク ペイン**で、**Dell サーバータスク** → **Dell OpenManage Server Administrator (モノリシックサーバー) の起動** と選択します。

 **メモ:** Server Management Pack Suite タスクが、Internet Explorer で Remote Console を起動します。


Remote Desktop (モノリシックサーバー) の起動

 **メモ:** Remote Desktop の起動は、管理下ノードで Windows オペレーティングシステムがインストールされており、Remote Desktop が手動で有効化されている場合にものみ可能です。

OpsMgr コンソールから Remote Desktop を起動するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** から目的の Dell システムを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. **タスク ペイン**で、**Dell サーバータスク** → **Remote Desktop (モノリシックサーバー) の起動** を選択します。

Dell OpenManage Power Center の起動

 **メモ:** OpenManage Power Center の起動は、管理下ノードに Windows または Linux オペレーティングシステムと OpenManage Server Administrator がインストールされている場合にものみ可能です。

このタスクを使用して、OpenManage Power Center コンソールを起動できます。

Dell OpenManage Power Center を起動するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** から目的の Dell システムを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. **タスク ペイン**で、**Dell サーバータスク** → **Dell OpenManage Power Center の起動** と選択します。


Dell Remote Access Console の起動

Dell Remote Access Console を起動するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** から目的の Dell システムを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. **タスク ペイン**で、**Dell サーバータスク** → **Dell Remote Access Console の起動** と選択します。

Dell License Manager の起動

このタスクを使用して、管理システムで Dell License Manager を起動できます。Dell License Manager は、Dell iDRAC ライセンスのための 1 対多ライセンス展開およびレポートツールです。

-  **メモ:** Dell License Manager がデフォルトのパスにインストールされていない場合は、Dell License Manager を起動するための新しいタスクを作成します。詳細に関しては、「[License Manager 起動タスクの作成](#)」を参照してください。

Dell License Manager を起動するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** から目的の Dell システムを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. **タスク ペイン**で、**Dell Windows サーバータスク** → **Dell License Manager の起動** と選択します。

Dell Remote Access Controller (DRAC) タスク

Dell Remote Access Console の起動


ご利用の Dell システムに DRAC が搭載されている場合は、このタスクを使用して Dell Remote Access Console を起動できます。

Dell Modular Chassis Remote Access Console の起動

1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** から目的の DRAC/iDRAC デバイスを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. *System Center Operations Manager 2007* を実行しているシステムの場合 **Storage** :
アクションペインで、**SNMP ネットワークデバイスタスク** → **Dell RemoteAccess Console の起動** と選択します。
System Center 2012 Operations Manager を実行しているシステムの場合：
タスク ペインで、**Dell Remote Access Controller タスク** → **Dell DRAC Console の起動** と選択します。

Dell License Manager の起動


このタスクを使用して、管理システムで Dell License Manager を起動できます。Dell License Manager は、Dell iDRAC ライセンスのための 1 対多ライセンス展開およびレポートツールです。

-  **メモ:** Dell License Manager がデフォルトのパスにインストールされていない場合は、Dell License Manager を起動するための新しいタスクを作成します。詳細に関しては、「[License Manager 起動タスクの作成](#)」を参照してください。

Dell License Manager を起動するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** から目的の Dell システムを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. **タスク ペイン**で、**Dell Remote Access Controller タスク** → **Dell License Manager の起動** と選択します。

Dell OpenManage Server Administrator の起動


 **メモ:** Dell OpenManage Server Administrator 機能は、iDRAC 7 搭載のシステムでのみ使用できます。

Dell OpenManage Server Administrator を起動するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** から Dell システムを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. タスク ペインで、**Dell Remote Access Controller タスク** → **Dell OpenManage Server Administrator の起動** と選択します。
4. *System Center Operations Manager 2007* を実行しているシステムの場合 *Storage* :
アクション ペインで、**SNMP ネットワークデバイス** タスク → **Dell OpenManage Server Administrator の起動** と選択します。


System Center 2012 Operations Manager を実行しているシステムの場合 :

タスク ペインで、**Dell Remote Access Controller タスク** → **Dell OpenManage Server Administrator の起動** と選択します。

 **メモ:** Server Management Pack Suite タスクが、Internet Explorer でリモートコンソールを起動します。

Remote Desktop の起動

 **メモ:** Remote Desktop 機能は、iDRAC 7 を持つシステムでのみ使用可能です。

 **メモ:** Remote Desktop の起動は、管理ノードで Remote Desktop が手動で有効化されている場合にのみ可能です。

Remote Desktop を起動するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** から目的の Dell システムを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. *System Center Operations Manager 2007* を実行しているシステムの場合 :
アクション ペインで、**SNMP ネットワークデバイス** タスク → **Dell OpenManage Server Administrator の起動** と選択します。
System Center 2012 Operations Manager を実行しているシステムの場合 :
タスク ペインで、**Dell Remote Access Controller タスク** → **Dell OpenManage Server Administrator の起動** と選択します。

Dell シェアタスク

Dell CMC Console の起動

このタスクを実行して、CMC Console を起動できます。

1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** から CMC デバイスを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. *System Center Operations Manager 2007* を実行しているシステムの場合 :

アクションペインで、**SNMP ネットワークデバイスタスク** → **Dell CMC Console の起動** と選択します。
System Center 2012 Operations Manager を実行しているシステムの場合：
タスク ペインで、**Dell CMC タスク** → **Dell CMC Console の起動** と選択します。

Dell Modular Chassis Remote Access Console の起動

このタスクを使用して、DRAC/MC コンソールを起動できます。


1. OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** から DRAC/MC デバイスを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3. *System Center Operations Manager 2007* を実行しているシステムの場合：
アクションペインで、**SNMP ネットワークデバイスタスク** → **Dell Modular Chassis Remote Access Console の起動** と選択します。
System Center 2012 Operations Manager を実行しているシステムの場合：
タスク ペインで、**Dell DRAC/MC タスク** → **Dell Modular Chassis Remote Access Console の起動** と選択します。

Dell Connections License Manager URL の設定

Dell サーバーは、Dell Connections License Server が設定された後にのみ検出されるため、サーバー（帯域外）監視機能をインポートする前にこのタスクを実行してください。

-  **メモ:** サーバー（帯域外）監視機能がすでにインポートされている場合、Dell サーバーは次の検出サイクルでのみ検出され、Dell Connections License Manager URL の設定を促すアラートが機能管理ダッシュボード内に生成されます。詳細に関しては、「[機能管理アラート](#)」を参照してください。
-  **メモ:** 管理サーバーが再起動された場合、検出された Dell サーバーは、次の検出サイクルの後にのみ表示されます。

1. **Dell Connections License Manager** をインストールします。詳細に関しては、support.dell.com/manuals の『*Dell Connections License Manager Version 1.0 Installation Guide*』（Dell Connections License Manager バージョン 1.0 インストールガイド）を参照してください。
2. 監視機能のためのライセンスを入手します。詳細に関しては、support.dell.com/manuals にある『*Dell Connections License Manager Version 1.0 User's Guide*』（Dell Connections License Manager バージョン 1.0 ユーザーズガイド）の「Connections License Manager の管理」の項を参照してください。
3. OpsMgr 2012 コンソールを起動します。
4. ナビゲーションペインで、**監視** をクリックします。
5. **監視** → **Dell** → **Feature Management Dashboard** と展開します。
6. サーバー（帯域外）**監視** 機能を選択します。
7. **License Server の設定** タスクを実行します。
タスクの実行 - **License Server の設定** 画面が表示されます。
8. **上書き** をクリックします。
上書きタスクのパラメータ画面が表示されます。
9. 新しい値列にある **LicenseWebServiceURL** パラメータに、**http://<License Server IP>:<ポート番号>/** の形式で、ライセンスウェブサービス URL（ライセンスウェブサービス URL はデフォルトポートを 8543 として使用）を入力します。
例えば、<http://10.56.123.255:8543/> となります。

10. 新しい値列にある **LicenseWebUIURL** パラメータに、**http://<License Server IP>:<ポート番号>/** の形式で、ライセンスウェブ UI URL (ライセンスウェブ UI URL はデフォルトポートを **8543** として使用) を入力します。
例えば、**http://10.56.123.255:8544/** となります。
 11. **上書き** をクリックします。
タスクの実行 - License Server の設定 画面が表示されます。
 12. **実行** をクリックします。
タスク状態 - License Server の設定 画面が表示されます。**License Server の設定** タスクは完了までに数分かかります。
-  **メモ:** Feature Management Dashboard を使用して別のタスクを開始する前に、タスクが完了するのを待ってください (ダッシュボードで状況アップデートの変更を表示します)。

レポート

レポート機能では、OpenManage Windows イベントログ、Dell サーバー BIOS、ファームウェア、保証、および RAID 設定のレポートを作成できます。


 **メモ:** Dell サーバー BIOS、ファームウェア、および RAID 設定レポートは、の Server (In-band) Management Pack の詳細エディションでのみ使用可能です。

レポートへのアクセス

レポート機能にアクセスするには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで **レポート** をクリックします。
2. ナビゲーションペインで、**レポート** → **アプリケーション監視** と拡張します。
3. Windows イベントログの場合は **Dell Windows Server (拡張可能エディション)** をクリックし、BIOS、ファームウェア、およびドライババージョン、RAID のレポートの場合は **Dell Windows Server (詳細エディション)** をクリックします。


また、サーバーインスタンスをクリックしてダイアグラムビューからレポートにアクセスすることもできます。**Dell レポート** のオプションは、**タスク** ペイン内の Dell システムインスタンスレポートの下に、デフォルト Microsoft レポートとともに用意されています。

 **メモ:** System Center Operations Manager 2007 または System Center Essentials 2010 では、**タスク** ペインは **アクション** ペインと呼ばれます。

OpenManage Windows イベントログレポートの生成


OpenManage Windows イベントログのレポートを生成するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、**レポート** をクリックします。
2. ナビゲーションペインで、**レポート** → **アプリケーション監視** と展開します。
3. **Dell Windows Server (拡張可能エディション)** をクリックします。
4. **OpenManage Windows イベントログ** をクリックして、**タスク** ペインの **開く** をクリックします。

 **メモ:** System Center Operations Manager 2007 または System Center Essentials 2010 では、**タスク** ペインは **アクション** ペインと呼ばれます。


5. 生成するレポートの対象期間を選択します。
6. **オブジェクトの追加** をクリックします。
7. Dell サーバーを検索して、**追加** をクリックします。
選択されたオブジェクトペインにオブジェクトが表示されます。
8. 生成するレポートの対象となるイベントの **重要度** を選択します。
9. **実行** をクリックします。
OpenManage Windows イベントログ レポートが生成されます。

BIOS 設定レポートの生成

 **メモ:** BMC レポートは、管理サーバーに BMU がインストールされている場合にのみ作成できます。

BIOS 設定のレポートを作成するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、**レポート** をクリックします。
2. ナビゲーションペインで、**レポート** → **アプリケーション監視** と展開します。
3. **Dell Windows Server (詳細エディション)** をクリックします。
4. **BIOS 設定** をクリックして、**タスク ペインの 開く** をクリックします。


 **メモ:** System Center Operations Manager 2007 または System Center Essentials 2010 では、タスクペインはアクションペインと呼ばれます。

5. 生成するレポートの対象期間を選択します。
6. **オブジェクトの追加** をクリックします。
7. Dell サーバーを検索して、**追加** をクリックします。
選択されたオブジェクト ペインにオブジェクトが表示されます。
8. 必要とする **プロパティ** を選択します。
9. **実行** をクリックします。
BIOS 設定 レポートが生成されます。

ファームウェアおよびドライババージョンレポートの生成

ファームウェアおよびドライババージョンのレポートを作成するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、**レポート** をクリックします。
2. ナビゲーションペインで、**レポート** → **アプリケーション監視** と展開します。
3. **Dell Windows Server (詳細エディション)** をクリックします。
4. **ファームウェアとドライババージョン** をクリックし、**タスク ペインで 開く** をクリックします。


 **メモ:** System Center Operations Manager 2007 または System Center Essentials 2010 では、タスクペインはアクションペインと呼ばれます。

5. 生成するレポートの対象期間を選択します。
6. **オブジェクトの追加** をクリックします。
7. Dell サーバーを検索して、**追加** をクリックします。
選択されたオブジェクト ペインにオブジェクトが表示されます。
8. **実行** をクリックします。
ファームウェアとドライババージョンのレポートが生成されます。

RAID 設定レポートの生成

RAID 設定のレポートを作成するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、**レポート** をクリックします。
2. ナビゲーションペインで、**レポート** → **アプリケーション監視** と拡張します。
3. **Dell Windows Server (詳細エディション)** をクリックします。
4. **RAID 設定** をクリックして、**タスク ペインの 開く** をクリックします。

 **メモ:** System Center Operations Manager 2007 または System Center Essentials 2010 では、タスクペインはアクションペインと呼ばれます。

5. 生成するレポートの対象期間を選択します。
6. **オブジェクトの追加** をクリックします。
7. Dell サーバーを検索して、**追加** をクリックします。
選択したオブジェクト ペインにオブジェクトが表示されます。
8. 必要とする **プロパティ** を選択します。
9. **実行** をクリックします。
RAID 設定 レポートが生成されます。


関連文書およびリソース

本章では、Dell Server Management Pack Suite の操作に役立つ文書および参考資料に関する詳細を説明します。

Operations Manager のパフォーマンスと拡張性のためのマイクロソフトガイドライン

最適なパフォーマンスのため、異なる管理ステーションにはデバイス固有の Server Management Pack Suite を展開します。

拡張性に関するマイクロソフトの推奨については、マイクロソフトのウェブサイト technet.microsoft.com を参照してください。

 **メモ:** パフォーマンス向上のため、Autogrow オプションが Operations Manager Data Warehouse および/または Database で有効化されていることを確認してください。


その他の必要マニュアル

本 ユーザーズガイドの他に、support.dell.com/manuals デルサポートサイトで利用できる以下のガイドを参照することが必要になる場合があります。マニュアルページで、ソフトウェア → システム管理 をクリックします。右側の該当する製品リンクをクリックして、マニュアルにアクセスします。

- *Dell Integrated Remote Access Controller User's Guide* (Dell Integrated Remote Access Controller ユーザーズガイド)
- *Dell Chassis Management Controller User's Guide* (Dell Chassis Management Controller ユーザーズガイド)
- *Dell OpenManage Installation and Security User's Guide* (Dell OpenManage Installation and Security ユーザーズガイド)
- *Dell OpenManage Software Quick Installation Guide* (Dell OpenManage ソフトウェアクイックインストールガイド)
- *Dell OpenManage Server Administrator Compatibility Guide* (Dell OpenManage Server Administrator 互換性ガイド)
- *Dell OpenManage Server Administrator CIM Reference Guide* (Dell OpenManage Server Administrator CIM リファレンスガイド)
- *Dell OpenManage Server Administrator Messages Reference Guide* (Dell OpenManage Server Administrator メッセージリファレンスガイド)
- *Dell OpenManage Server Administrator Command Line Interface User's Guide* (Dell OpenManage Server Administrator コマンドラインインタフェースユーザーズガイド)
- *Dell OpenManage Baseboard Management Controller Utilities User's Guide* (Dell OpenManage ベースボード管理コントローラユーティリティユーザーズガイド)
- *Dell Remote Access Controller 5 User's Guide* (Dell Remote Access Controller 5 ユーザーズガイド)
- *Dell Remote Access Controller Racadm User's Guide* (Dell Remote Access Controller Racadm ユーザーズガイド)
- *Dell Life Cycle Controller User's Guide* (Dell Life Cycle Controller ユーザーズガイド)
- *Dell Remote Access Controller/Modular Chassis User's Guide* (Dell Remote Access Controller/Modular Chassis ユーザーズガイド)
- 用語集では、本書で使用されている用語が説明されています。

『*Dell Systems Management Tools and Documentation*』（Dell System Management ツールとマニュアル）DVD には、Server Administrator の readme ファイルおよびこの DVD に含まれるその他のシステム管理ソフトウェアアプリケーションの readme ファイルが収録されています。

デルへのお問い合わせ

 **メモ:** お使いのコンピュータがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデルの製品カタログで連絡先をご確認ください。

デルでは、オンラインまたは電話によるサポートとサービスのオプションを複数提供しています。サポートやサービスの提供状況は国や製品ごとに異なり、国/地域によってはご利用いただけないサービスもございます。デルのセールス、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

1. **support.dell.com** にアクセスします。
2. サポートカテゴリを選択します。
3. 米国在住以外のお客様は、**support.dell.com** ページ下の国コードを選択してください。**All** を選択するとすべての選択肢が表示されます。
4. 必要なサービスまたはサポートのリンクを選択します。

付録 A - 問題とその解決

問題とその解決

次の表では、既知の問題、解決法、および問題の対象をリストしています。

表 19. 問題とその解決

問題	解決法	対象
Dell ネットワークデバイスのダイアグラムビューで、Dell DRAC およびシャーシオブジェクトの基本属性が表示されない。	この問題を解決するため、状態ビューでオブジェクトをクリックすることにより、詳細な属性一連を表示することができます。	Dell Remote Access 監視機能、Dell CMC 監視機能
ライセンス設定アラートが自動的に解決されない。	この問題を解決するには、OpsMgr コンソールでライセンス設定アラートを右クリックして、 閉じる をクリックします。	Dell Server Management Pack Suite
サーバーモジュールおよびシャーシスロットサマリ情報が CMC または DRAC/MC に表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> CMC または DRAC/MC を管理する管理サーバーに OMSA または DRAC ツールがインストールされていることを確認します。 CMC または DRAC/MC デバイスに RunAsAccounts が設定されており、それらが「Dell CMC ログインアカウント」または「Dell DRAC/MC ログインアカウント」に関連付けられていることを確認します。 Dell CMC スロット検出 および Dell DRAC/MC スロット検出ルールが、OpsMgr コンソールの オーサリングペイン から有効化されていることを確認します。 	Dell シャーシ監視機能
プログラムの追加と削除 またはプログラムのアンインストールと変更 から Dell Server Management Pack バージョン 5.0.1 の 修復 オプションの実行中にエラーが発生した。	インストーラの 修復 オプションを使用してください。詳細に関しては、『 <i>Dell Server Management Pack Suite Version 5.0.1 For Microsoft System Center Operations Manager and System Center Essentials Installation Guide</i> 』（Microsoft System Center Operations Manager および System Center Essentials 向けの Dell Server Management Pack Suite バージョン 5.0.1 のインストーラガイド）の「インストーラの修復オプションの使用」の項を参照してください。	Dell Server Management Pack Suite

問題	解決法	対象
Dell サーバー（帯域外）監視機能によって検出された Dell サーバーが、Dell サーバー（帯域外）ライセンスが削除された後もリストされる。	この問題を解決するには、次の手順を実行してください。 <ol style="list-style-type: none"> 1. スタート → ファイル名を指定して実行 をクリックします。 2. DcomCnfg コマンドを入力して DCOM 設定 ウィンドウを開きます。 3. コンポーネントサービス → コンピュータ → マイコンピュータ → COM+ アプリケーション → Dell Device Helper と展開します。 4. Dell Device Helper を右クリックして、シャットダウン をクリックします。 5. Dell Device Helper を右クリックして、起動 をクリックします。 	Dell Server Management Pack Suite
CMC/DRAC MC デバイスの検出中に応答の遅延が発生した場合、デバイスからの最新情報がアップデートされない、スクリプトタイムアウトエラーが生成される、または一時フォルダ内のログファイルがクリアされません。	応答の遅延が発生している CMC または DRAC/MC デバイスの 上書きプロパティ 画面で スクリプトタイムアウト 値を増やしてください。上書きの詳細に関しては、 technet.microsoft.com にある OpsMgr マニュアルを参照してください。	Dell シャーシ監視機能
機能管理ホストサーバー正常性サービスがダウンする	分散型セットアップ（OpsMgr 2012 内の分散型リソースプールを含む）では、 Dell Feature Monitoring Manatement Pack は、検出、アラート、およびタスクなどの機能管理アクティビティのすべてをホストするための管理サーバーリストから 1 つのサーバーを特定します。選択された管理サーバーの機能が停止すると、実行した機能管理タスクは失敗します。そのような選択された管理サーバーが破損している、または正常性サービスを呼び出せない場合は、古いオブジェクトを削除するために、管理サーバーの使用停止を計画してください。詳細については、 technet.microsoft.com/en-us/library/hh456439.aspx を参照して下さい。 Dell Feature Management Pack は新規の機能管理ホストサーバーに切り替え、以降の検出サイクルではそのサーバーで機能をホストします。	Dell Server Management Pack Suite

既知の制限

表 20. 既知の制限

制限	対象
Dell MP、電源制御、および LED タスクは、デフォルトの資格情報のみを使用します。オーサリングペイ	Dell Server Management Pack Suite

制限	対象
<p>ンで新しいタスクを作成して表示すると、指定したユーザー名とパスワードを確認できます。資格情報は、タスク表示時に非表示にはなりません。</p> <p>正常性エクスペローラーの使用中、Server Management Pack Suite (センサーと OpenManage Services インスタンスの下) の一部のユニット監視は、サブインスタンスが存在しないにも関わらず緑の状態を表示する場合があります。これは、ターゲットクラスが存在し、ユニット監視が実行されているとき、にユニット監視は 使用不可 状況になれないためです。</p> <p>センサーのイントルージョンユニットモニタのステータスは、シャードのみの状態を示すものであり、ベゼルイントルージョンの正常性は含まれていません。</p> <p>Dell Server Management Pack Suite バージョン 4.1 の Dell.OutofBand.DRAC.mp の iDRAC クラスで行われる上書き (検出/監視/ルール) は、バージョン 5.0.1 の iDRAC6 モノリシッククラスにのみ転送されます。iDRAC6 モジュールクラスには上書きを手動で再作成してください。</p>	<p>Dell Server Management Pack Suite</p> <p>Dell Server Management Pack Suite</p> <p>Dell Server Management Pack Suite</p>

機能管理アラート

Dell Device Helper Utility または Dell Connections License Manager サーバーが正しくインストールされていない場合、またはライセンスサーバーが Dell サーバー (帯域外) 監視機能を通して Dell サーバーを監視するために十分なライセンスを持っていない場合、ダッシュボードの機能管理アラートに以下のアラートが生成されます。

表 21. 機能管理アラート

アラートテキスト	アラート状況	原因	解決法
Dell FMP : Dell Device Helper Utility が存在しないか、Dell Dell Server (out-of-band) Management Pack との互換性がありません	重要	Dell Device Helper Utility バージョン 5.0.1 が見つからなかったか、Dell Device Helper Utility が破損しています。 5.0.1 より新しいバージョンの Dell Device Helper Utility が見つかりました。 5.0.1 より古いバージョンの Dell Device Helper Utility が見つかりました。	管理サーバー上で Dell Server Management Pack Suite バージョン 5.0.1 インストーラーを実行してください。
Dell FMP : Dell License Server が適切に設定されていません	重要	Dell Connections License Server が設定されていません。	Dell Connections License Server をインストールして URL を設定してください。詳細に関しては、「 Dell Connections License Manager URL の設定 」を参照してください。
Dell FMP : Dell License Server が到達不能です	重要	Dell Connections License Server に接続できません。	Dell Connections License Server URL が正しく設定されていることを確認し

アラートテキスト	アラート状況	原因	解決法
			<p>てください。詳細に関しては、「Dell Connections License Manager URL の設定」を参照してください。</p> <p>Dell Connections License Server にアクセス可能かどうかを確認してください。</p>
Dell FMP：機能に対する Dell ライセンスが十分でないか存在しません。	重要	<p>Dell Connections License Server 上にライセンスがありません。</p> <p>監視機能に対するライセンスの使用が監視制限を超えています。</p>	<p>追加のライセンスを購入して、Dell Connections License Server にインポートしてください。</p>
	警告	<p>監視機能に対するライセンスの使用が、総監視能力の上限に近づいています。</p>	<p>追加のライセンスを購入して、Dell Connections License Server にインポートしてください。</p>
	重要	<p>監視機能のためのライセンスを処理できません。</p>	<p>Dell Connections License Server が正しく設定されていることを確認してください。詳細に関しては、support.dell.com/manualsis の『<i>Dell Connections License Manager Version 1.0 User's Guide</i>』（Dell Connections License Manager バージョン 1.0 ユーザーズガイド）を参照してください。</p> <p>Dell Connections License Server にアクセス可能かどうかを確認してください。</p> <p>Dell Connections License Server からライセンスを取得するためのアクセス権限を確認してください。</p>

付録 B - 外部プログラムの有効化タスク

Dell Server Management Pack Suite によって提供される外部プログラムを起動するタスクは、デフォルトの場所にインストールされる必要があります。プログラムがデフォルトの場所にインストールされていない場合は、アプリケーションを起動するための新しいタスクを作成します。

アドバンス電源制御と LED 識別表示タスクの作成

アドバンス電源制御と LED 識別表示タスクは、デフォルトの BMC 資格情報とインストールパス (C:\Program Files\Dell\SysMgt\bmc) を使用します。

お使いのシステムがデフォルトの BMC 資格情報とインストールパスを使用しない場合は、管理サーバー上に BMU 2.0 以降をインストールして、新しいコンソールタスクを作成します。

△ **注意:** 以下の手順では、タスクを作成して、プレーンテキストでパスワードを設定する必要があります。BMC が管理サーバーにインストールされていない場合、OpsMgr Console はダイアログボックス内にコマンド全体とエラーを表示する場合があります。パスワードを公開します。このタスクを含む作成済み上書き管理パックをディスクにエクスポートすると、エクスポートされた管理パックを一般的なテキストエディタ、または OpsMgr Authoring Console で開き、パスワードをプレーンテキストで表示できます。新しいタスクの作成は必要不可欠な場合にのみ行い、続行する前にセキュリティ面を検討してください。

新しいタスクを作成するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールを起動して、**オーサリング** をクリックします。
2. **オーサリング** ペインで **管理パックオブジェクト** 下にある **タスク** を右クリックし、**新規タスクの作成** を選択します。
3. **タスクタイプ** 画面で、**コンソールタスク** にある **コマンドライン** を選択します。
4. 宛先の管理パックを選択し、**次へ** をクリックします。
5. **タスク名**、**説明** を入力し、**タスクターゲット** に **Dell Windows サーバー** を選択して、**次へ** をクリックします。
コマンドライン 画面が表示されます。
6. **アプリケーション** フィールドに **ipmitool.exe** アプリケーションのパス (管理サーバー上で BMU がインストールされている場所へのパス) を入力します。
例えば、C:\Program Files\Dell\SysMgt\bmc\ipmitool.exe (デフォルトの BMU パスは、お使いのオペレーティングシステムの言語により異なる場合があります) になります。2 つの LED 識別表示タスクの場合、アプリケーションパスは C:\Program Files\Dell\SysMgt\bmc\ipmish.exe (デフォルトの BMU パスは、お使いのオペレーティングシステムの言語により異なる場合があります) となります。
7. 電源制御タスクの場合、**パラメータ** フィールドに次の形式でコマンドラインパラメータを入力します。
 - -I lan -H と入力し、ドロップダウンメニューから **IPMI 機能ありのリモートアクセス IP** を選択します。
 - -U <ユーザー名> -P <パスワード> -k <kgkey> <IPMI タスク文字列> と入力します。
 - <IPMI タスク文字列> を次のいずれかのオプションと置き換えます。
 - * power status (電源ステータスの確認 タスクの場合)
 - * power on (電源オン タスクの場合)

- * power soft (正常電源オフ タスクの場合)
- * power off (強制電源オフ タスクの場合)
- * power cycle (パワーサイクル タスクの場合)
- * power reset (電源リセット タスクの場合)
- * identify on (LED 識別表示オン タスクの場合)
- * identify off (LED 識別表示オフ タスクの場合)

例:

```
-I lan -H $Target/Property[Type="Dell.WindowsServer.Server"]/RemoteAccessIP$
-U root -P <パスワード> -k <kgkey> power status
```

8. LED のオン/オフのタスクについては、次の形式でコマンドラインパラメータを入力します。
 - -ip と入力し、ドロップダウンメニューから **IPMI 機能ありのリモートアクセス IP** を選択します。
 - -u <ユーザー名> -p <パスワード> -k <kgkey> <IPMI タスク文字列> と入力します。
9. **作成** をクリックしてタスクを作成します。作成する新しい BMC タスクごとに、この手順を繰り返します。

License Manager 起動タスクの作成

License Manager 起動タスクは、変更不可のデフォルト Dell License Manager(DLM) インストールパス (%PROGRAMFILES(X86)%\Dell\SysMgt\LicenseManager\Dell.DlmUI.exe または %PROGRAMFILES%\Dell\SysMgt\LicenseManager\Dell.DlmUI.exe) を使用します。

お使いのシステムがこれらを使用していない場合、管理サーバーに DLM をインストールして、**Dell サーバー用 DLM** でターゲットされる **オーサリング** ペインで新しいコンソールタスクを作成します。

新しいタスクを作成するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールを起動して、**オーサリング** をクリックします。
2. **オーサリング** ペインで **管理バックオブジェクト** 下にある **タスク** を右クリックし、**新規タスクの作成** を選択します。
3. **タスクタイプ** 画面で、**コンソールタスク** にある **コマンドライン** を選択します。
4. 宛先の管理バックを選択し、**次へ** をクリックします。
5. **タスク名**、**説明** を入力し、**タスクターゲット** を以下のいずれかで設定します。
 - Dell Windows サーバー (Dell サーバー帯域内監視の場合)
 - Dell サーバー(Dell サーバー帯域外監視の場合)
 - Dell iDRAC7 (DRAC 監視の場合)
6. **次へ** をクリックします。
コマンドライン 画面が表示されます。
7. **アプリケーション** フィールドに **Dell.DlmUI.exe** アプリケーションのパス (管理サーバー上で DLM がインストールされている場所へのパス) を入力します。
例えば、C:\Program Files\Dell\SysMgt\LicenseManager\Dell.DlmUI.exe となります (デフォルトの DLM パスは、お使いのオペレーティングシステムの言語によって異なる場合があります)。
8. **作成** をクリックしてタスクを作成します。作成する新しい DLM タスクごとに、この手順を繰り返します。